

計画段階評価について
山陰道（みすみ三隅～ながと長門）
第2回 説明資料

令和3年11月29日

国土交通省 中国地方整備局

目 次

1. これまでの計画段階評価の審議内容	・ ・ ・ 2
2. 第1回意見聴取の概要	・ ・ ・ 10
3. 第1回意見聴取の結果	・ ・ ・ 15
4. 対応方針（原案）の検討	・ ・ ・ 30
5. 第2回意見聴取方法	・ ・ ・ 37

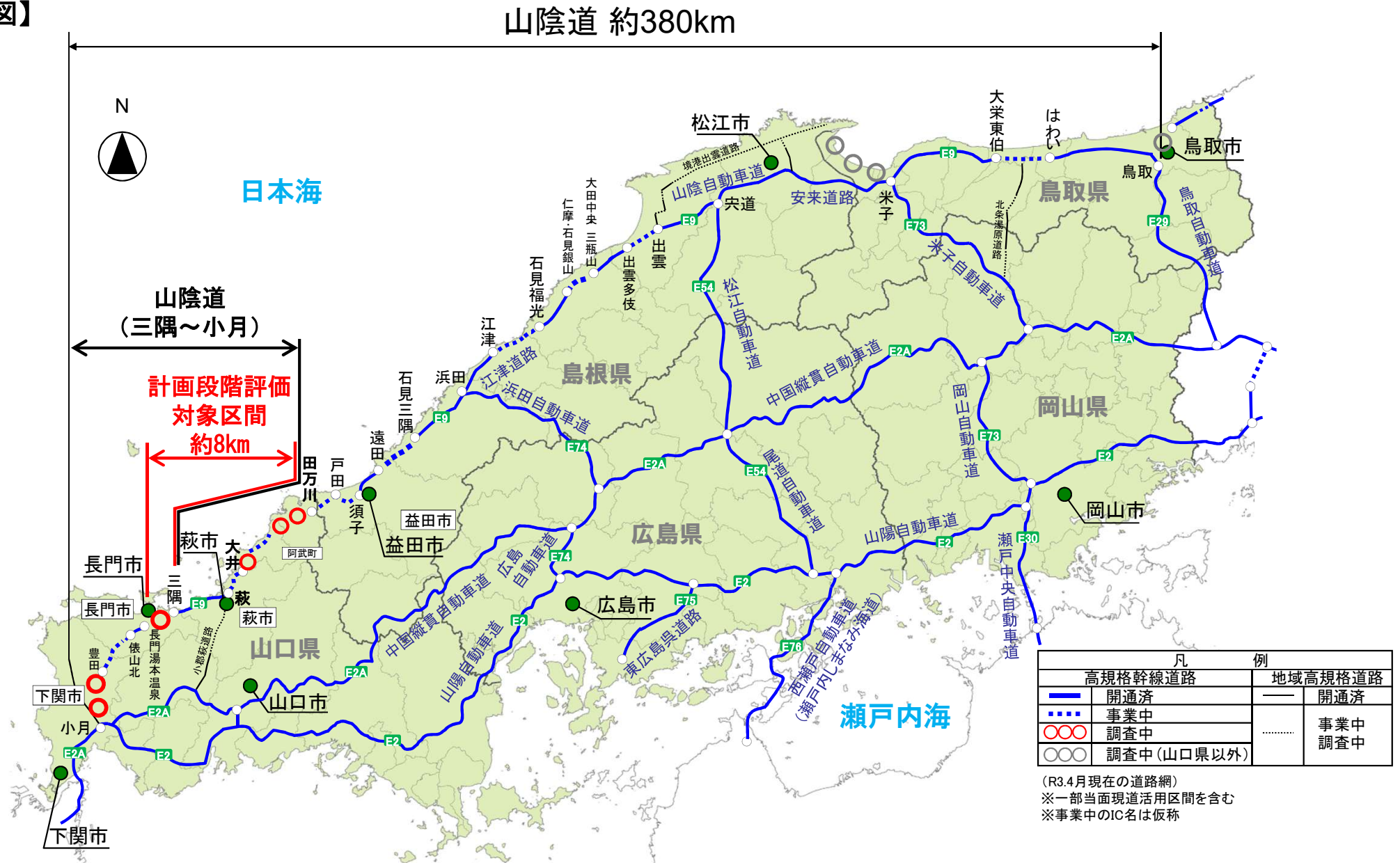
1. これまでの計画段階評価の審議内容

1. これまでの計画段階評価の審議内容

1) 中国地方の高規格幹線道路網

- 三隅^{みすみ}～長門^{ながと}間は、日本海国土軸の一部を担う山陰道(三隅^{みすみ}～小月^{おつき})の一部。
- 山口県長門市の中心部に位置し、日本海と山地に挟まれた自然豊かな地域である。

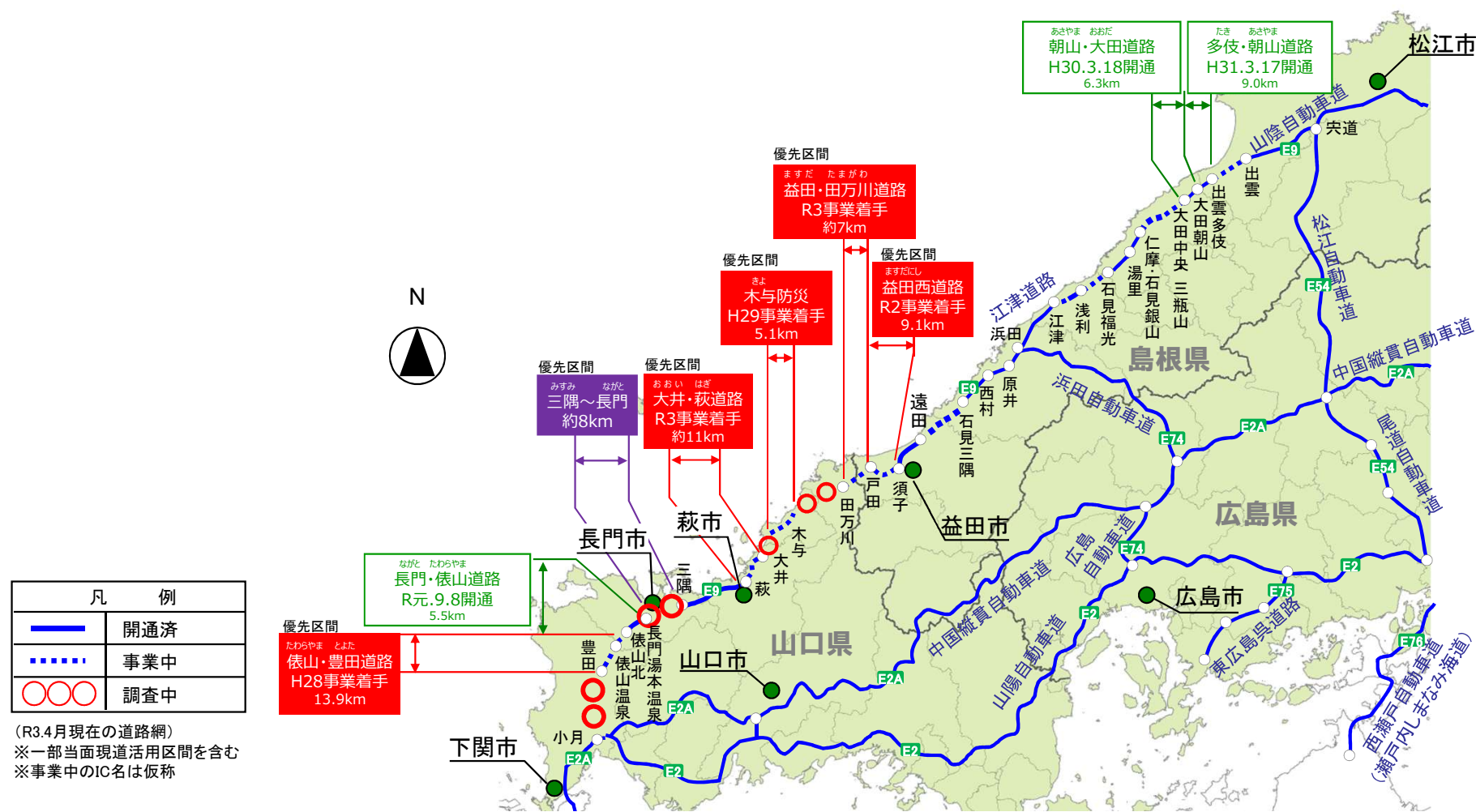
【広域図】



1. これまでの計画段階評価の審議内容

2) 山陰道（島根県、山口県区間）の進捗

- 島根県の朝山・大田道路はH29年度、多伎・朝山道路はH30年度に開通。山口県の長門・俵山道路はR元年度に開通。
- 須子～小浜間はR2年度に益田西道路として事業着手。小浜～田万川間はR3年度に益田・田万川道路として事業着手。
- 大井～萩間は、H31年1月に対応方針を決定し、R3年度に大井・萩道路として事業着手。
- 三隅～長門間は、H30年2月に第1回地方小委員会を開催し、H30年12月～H31年1月の期間で地域、道路の課題に関する意見聴取を実施。



(R3.4月現在の道路網)
 ※一部当面現道活用区間を含む
 ※事業中のIC名は仮称

1. これまでの計画段階評価の審議内容

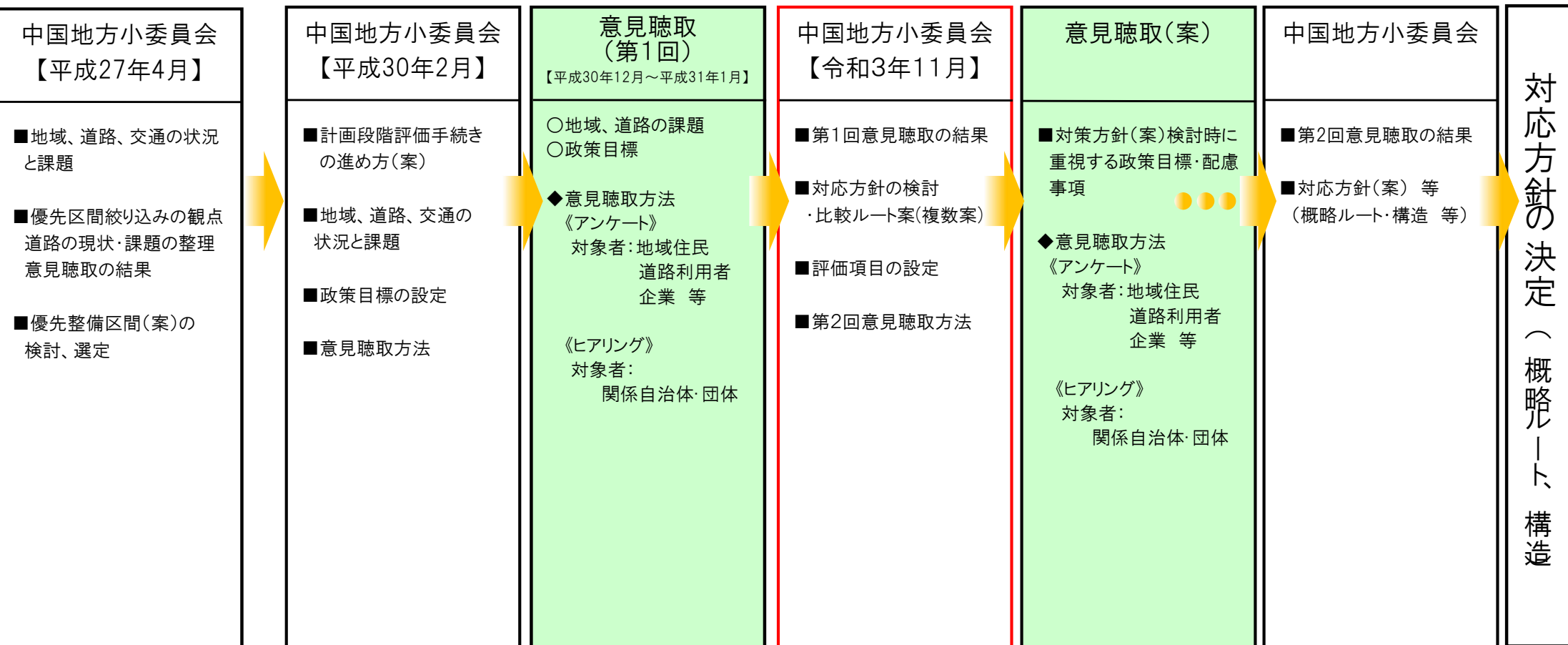
3) 計画段階評価の検討の流れ

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

優先区間絞り込み

(今回)



※各段階で随時自治体と調整

地 方 小 委 員 会

1. これまでの計画段階評価の審議内容

4) - 1 前回審議内容と指摘事項への対応

■平成29年度第4回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会の概要

実施日：平成30年2月28日（水） 開催

主な議事：①地域の状況と課題

②道路の状況と課題

③政策目標の設定

④意見聴取方法

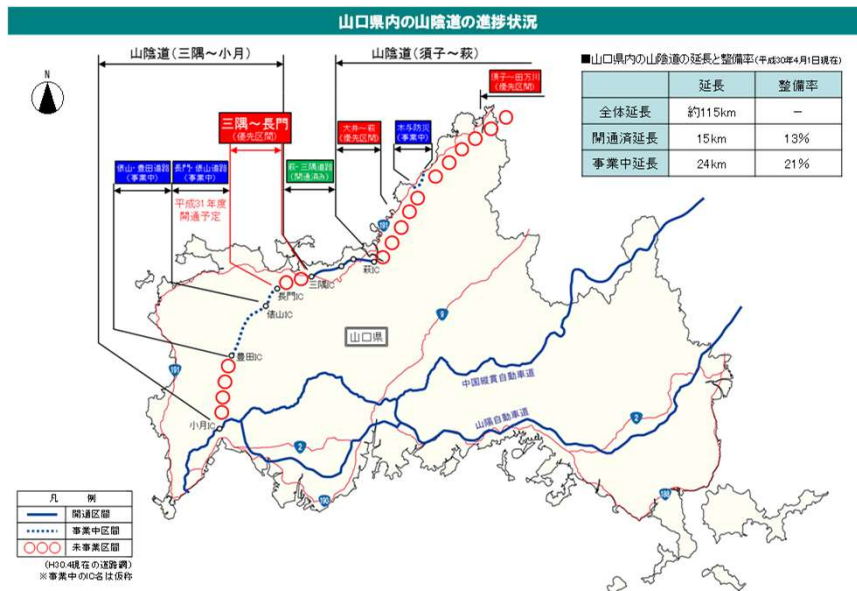
●前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
・「地域」のイメージは回答者によって異なるため、「長門市街地」や「お住まいの地域」などイメージしやすい文言とすべき。	・アンケート調査票に山口県内の山陰道の整備進捗状況や周辺状況を示す資料を追加（P7の左参照）。 ・アンケートの回答に地域や施設等の具体的な名称を追加（P7の右参照）
・地域のためだけのアンケートであるべきではなく、ネットワークしたときにどうなのか意見聴取すべき。	・アンケートの質問に「山陰道の三隅IC（開通済み）と長門IC（仮称・整備中）間の道路整備を計画するにあたり、以下の質問にお答えください。」という文言を追加（P7の右参照）。

1. これまでの計画段階評価の審議内容

4) - 2 前回審議内容と指摘事項への対応

■対応：山口県内の山陰道の整備進捗状況や周辺状況を示す資料を追加



■対応：「山陰道の三隅IC(開通済み)と長門IC(仮称・整備中)間の道路整備を計画するにあたり、以下の質問にお答えください。」という文言を追加し、質問項目に具体的な地域名や施設名称を追加。

※アンケート実施当時は長門・萩山道路は事業中

文言を追加

【アンケート質問票】
(回答はがきに記載してください)

山陰道の三隅IC(開通済み)と長門IC(仮称・整備中)間の道路整備を計画するにあたり、以下の質問にお答えください。

質問1 地域の将来も踏まえ、どのような道路にすべきと思いますか？
以下の①～⑦について、5段階評価であてはまる a.～e.に○をつけてください。

<5段階評価> a. そう思う b. ややそう思う c. どちらとも言えない d. あまりそう思わない e. そう思わない

- ① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路
- ② 長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路
- ③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路
- ④ 長門市が交流拠点に位置づけている「道の駅センザキッチン」と、長門市の地域拠点(三隅、日置、油谷)や観光拠点(湯本、萩山)とのアクセス性に優れる道路
- ⑤ 長門地域の医療拠点のある長門市中心部への速達性を向上させ、安定走行できる道路
- ⑥ 事故が少なく安心して走れる道路
- ⑦ 災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路

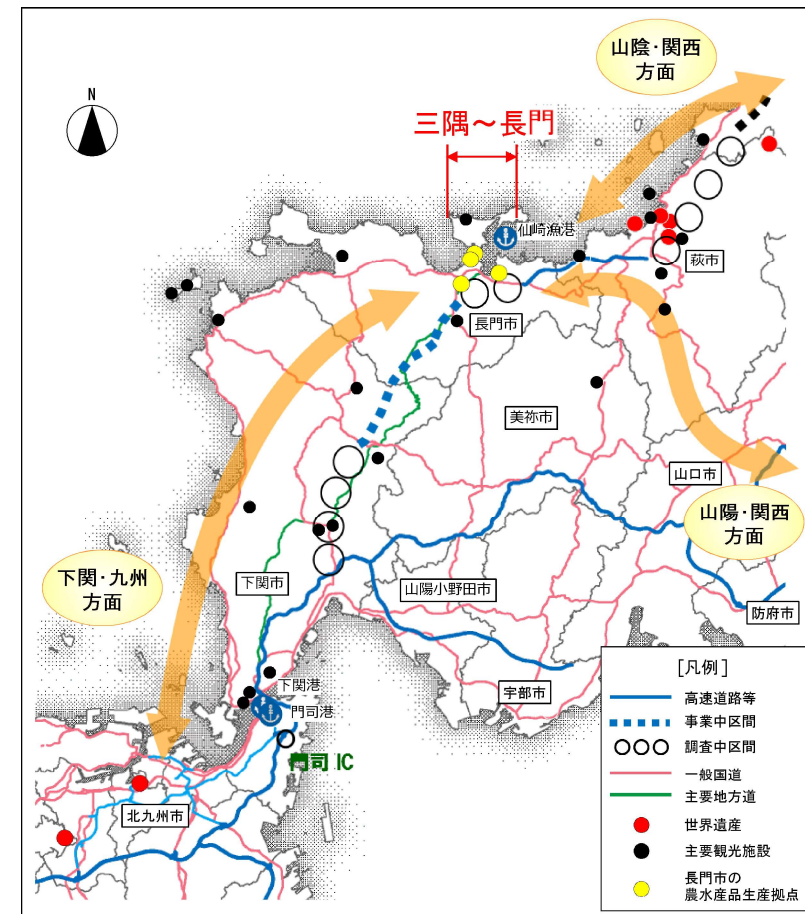
地域や施設名称を追加

質問2 その他、利用しやすい道路となるためのアイデアや、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどについて、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

5) 地域課題

政策目標	産業の活性化	観光振興の促進	救急医療の速達性・確実性の確保	交通安全の確保	災害時に強い道路ネットワークの確保
地域・道路交通の課題	- 農水産品の輸送において、通行止めや事故等による納入時間の遅延等により企業活動の支障がある。 - 輸送時間の短縮や通行規制が発生しない安定した輸送等が物流面での大きな課題である。	高速道路が繋がっていないため、九州方面からの観光客が県北部まで回遊しておらず、広域的な観光周遊に課題がある。	長門市では救急搬送において約7割が収容までに30分以上を要しており救急搬送時間の短縮が課題である。	- 対象区間には、全国平均死傷事故率（73.7件/億台キロ）を上回る箇所が存在する。 - 全国平均に比べ、追突事故の割合が多い。	- 主要幹線道路沿いに土砂災害警戒区域や洪水時浸水想定区域が存在しており、防災上脆弱である。 - 長門市内に向かう道路網の多重性は低い。



6) 政策目標の案

◇ 地域の課題及び沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の政策目標を以下に設定

地域や道路の状況や課題

地域の将来像

1. 産業の活性化
2. 観光振興の促進
3. 救急医療の速達性・確実性の確保
4. 交通安全の確保
5. 災害時に強い道路ネットワークの確保

◇ 対策案の検討(案)

【産業の活性化】

農水産業等の地域産業の活動を支援する道路整備とは

【観光関連】

下関と一帯となった、九州からの観光客誘致や観光周遊行動を促す道路整備とは

【医療関連】

高次医療機関への速達性・確実性を向上させる道路整備とは

【安全・安心関連】

安全・安心に快適な走行を確保できる道路整備とは

【防災関連】

災害等による通行止めにおける社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留め、住民の生活や地域の産業を守る道路整備とは

当該地域の高規格幹線道路の整備方針を検討
(既存の道路ストックの活用も含め、複数の対策案を設定し検討)

2. 第1回意見聴取の概要

2. 第1回意見聴取の概要

1) 意見聴取の方法

■調査期間

平成30年12月～平成31年1月

＜アンケート配布範囲＞

※配布数は、地域住民アンケート

■調査方法

◎アンケート:

- ①住民は全戸配布、事業所は郵送配布
- ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
- ③HP上でのWEBアンケート

◎ヒアリング: 対面方式にて実施

■対象

下表の通り

住民アンケート(全戸配布): 約33,200世帯		
長門市	旧長門市	約9,000世帯
	旧三隅町	約2,100世帯
	旧日置町	約1,500世帯
	旧油谷町	約2,700世帯
萩市	旧萩市	約17,900世帯
事業所アンケート: 約2,000社		
トラック協会加盟企業		約400社
沿線企業		約1,400社
広域利用企業		約200社
道路利用者アンケート: 21箇所		
常設	道の駅	センザキッチン、螢街道西ノ市 きくがわ、さんさん三見 4箇所
	自治体	長門市(本庁、総合事務所3箇所)、萩市(本庁)、下関市(支所2箇所) 山口県(土木建築事務所2箇所)、国土交通省(3箇所) 12箇所
	その他	観光施設等 5箇所
道の駅等でのインタビュー調査		道の駅等 6箇所
WEB		山口河川国道事務所HPにバナー掲載
ヒアリング: 26団体		
自治体		山口県、長門市
沿線施設		消防、病院、介護施設、観光地、商工会議所、地元企業、農協、漁協等
その他		トラック協会等



■質問内容

【アンケート質問票】 (回答はがきに記載してください)

山陰道の三隅IC(開通済み)と長門IC(仮称・整備中)間の道路整備を計画するにあたり、以下の質問にお答えください。

質問1 地域の将来も踏まえ、どのような道路にすべきと思いますか？
以下の①～⑦について、5段階評価であてはまる a.～e.に○をつけてください。

＜5段階評価＞ a. そう思う b. ややそう思う c. どちらとも言えない d. あまりそう思わない e. そう思わない

- ① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路
- ② 長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路
- ③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路
- ④ 長門市が交流拠点に位置づけている「道の駅センザキッチン」と、長門市の地域拠点(三隅、日置、油谷)や観光拠点(湯本、俵山)とのアクセス性に優れる道路
- ⑤ 長門地域の医療拠点のある長門市中心部への速達性を向上させ、安定走行できる道路
- ⑥ 事故が少なく安心して走れる道路
- ⑦ 災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路

質問2 その他、利用しやすい道路となるためのアイデアや、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどについて、ご自由にお書きください。

2. 第1回意見聴取の概要

2) 意見聴取項目の設定

○調査目的を踏まえ、調査項目を設定。

調査目的1. 政策目標の明確化

地域・道路交通の課題		前回の中国地方小委員会で提示した意見聴取 項目案 (どのような課題があるか)	前回の中国地方小委員会での指摘	指摘を踏まえた 第1回意見聴取の質問1の項目 (どのような道路にすべきか)
産業の活性化	・農水産品の輸送において、通行止めや事故等による納入時間の遅延等により企業活動の支障がある。 ・輸送時間の短縮や通行規制が発生しない安定した輸送等が物流面での大きな課題である。	①地域産業の拠点からの円滑な広域物流が確保されること	・三隅～長門の前後区間はルートが確定しているため、<u>山陰道としての広域的な役割と地域内の移動を支える2つの役割を分けて質問</u> ・道路の役割をイメージしやすくするため<u>具体的な地名や拠点を記載</u>	①九州・下関方面から <u>長門・萩</u> への広域な物流を支える道路
観光振興の促進	・高速道路がつながっていないため、九州方面からの観光客が県北部まで回遊しておらず、広域的な観光周遊に課題がある。	②高速道路ネットワークの連絡により広域な周遊観光が出来ること		② <u>長門市中心部</u> に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路
速達性・確実性・救急医療の確保	・長門市では救急搬送において約7割が収容までに30分以上を要しており救急搬送時間の短縮が課題である。	③地域と医療拠点へのアクセス性が向上すること	・道路の役割をイメージしやすくするため<u>具体的な地名や拠点を記載</u>	③九州・下関方面から <u>長門・萩</u> への広域な観光周遊性に優れる道路
交通安全の確保	・対象区間には、全国平均死傷事故率を上回る箇所が存在。 ・全国平均に比べ、追突事故の割合が高い。	④安全・快適に走行できること		④長門市が交流拠点に位置づけている「 <u>道の駅センザキッチン</u> 」と、長門市の地域拠点（ <u>三隅</u> 、 <u>日置</u> 、 <u>油谷</u> ）や観光拠点（ <u>湯本</u> 、 <u>俵山</u> ）とのアクセス性に優れる道路
災害時に強い道路ネットワーク	・主要幹線道路沿いに土砂災害警戒区域や洪水時浸水想定区域が存在しており、防災上脆弱である。 ・長門市内に向かう道路網の多重性は低い。	⑤異常気象時に安全・安心に機能する道路ネットワークが確保されること	・道路の役割をわかりやすくするため<u>具体的な表現に変更</u>	⑤ <u>長門地域の医療拠点のある長門市中心部</u> への速達性を向上させ、安定走行できる道路
				⑥事故が少なく安心して走れる道路
				⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路

調査目的2. 利活用に向けたアイデアや配慮事項の把握

質問2 山陰道(三隅～長門)を整備する場合、利用しやすくなる工夫や配慮すべき事項は何か

2. 第1回意見聴取の概要

3) 意見聴取の方法・対象者と回収率

調査種別	対象者	実施期間	調査方法	対象地域・団体等	配布件数	回収件数	回収率
アンケート	地域住民	平成30年12月14日(金)～平成31年1月31日(木)	郵送回収	長門市(旧長門市、旧三隅町、旧日置町、旧油谷町)	15,283	2,829	18.5%
				萩市(旧萩市)	17,926	2,521	14.1%
				未記入、その他	-	44	-
				小計	33,209	5,394	16.2%
			WEB調査	山口河川国道事務所のHPにWEBアンケート掲載	-	69	-
	-	合計	-	-	5,463	-	
	事業所	平成30年12月14日(金)～平成31年1月31日(木)	郵送回収	沿線事業所、トラック協会(鳥取県、島根県、山口県、福岡県)の会員	1,927	644	33.4%
			WEB調査	山口河川国道事務所のHPにWEBアンケート掲載	-	6	-
			-	合計	-	-	650
	道路利用者	平成30年12月14日(金)～平成31年1月31日(木)	常設	道の駅、観光地、官公庁等にてアンケート票を設置(21箇所)	-	753	-
		平成31年1月13日(日)、1月23日(水)	インタビュー調査	道の駅センザキッチン、元乃隅神社、道の駅さんさん三見 道の駅蜷街道西ノ市、道の駅きくがわ、道の駅おふく	-	856	-
		平成30年12月14日(金)～平成31年1月31日(木)	WEB調査	山口河川国道事務所のHPにWEBアンケート掲載	-	23	-
		-	合計	-	-	1,632	-
合計			-	-	7,745	-	
ヒアリング	関係自治体	平成30年12月14日(金)～平成31年1月31日(木)	ヒアリング調査	沿線地域の自治体	2	団体・企業	
	医療関連			消防署・病院・介護施設	4	団体・企業	
	観光関連			観光協会、観光地	5	団体・企業	
	商工関連			商工会議所	1	団体・企業	
	製造業関連			地元企業	3	団体・企業	
	物流業関連			トラック協会、物流事業者	6	団体・企業	
	農業関連			農協	2	団体・企業	
	漁業関連			漁協	1	団体・企業	
	交通関連			バス会社	2	団体・企業	
	合計			-			26

2. 第1回意見聴取の概要

4) 回収率を上げるための取り組み

■道路利用者アンケートの常設



▲道の駅「センザキッチン」

■WEBアンケート実施



▲山口河川国道事務所HP



▲長門市役所

■道の駅等でのインタビュー調査 (平成31年1月13日(日)、平成31年1月23日(水))

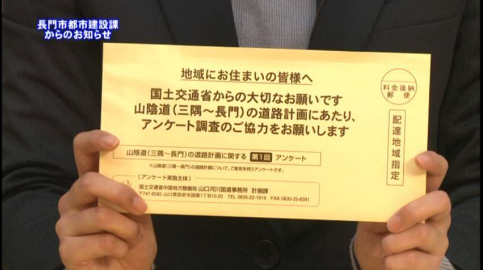


▲道の駅「センザキッチン」

■広報誌 (広報ながと 平成31年1月号に同封)



■長門市ケーブルテレビ (平成31年1月7日放送、1月12日再放送、以降随時放送)



※その他、長門市の文字放送や告知放送にて広報を実施

■新聞折込広告 (平成31年1月13日(日)朝刊に折込)



■長門市成人式でアンケート票を配布 (平成31年1月3日)



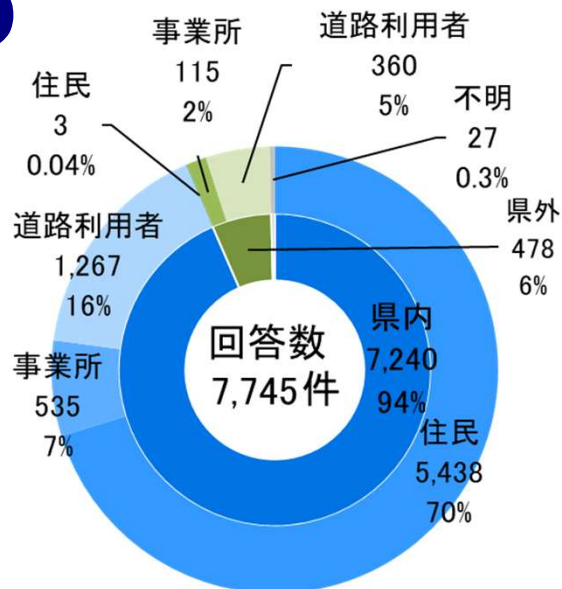
3. 第1回意見聴取の結果

3. 第1回意見聴取の結果

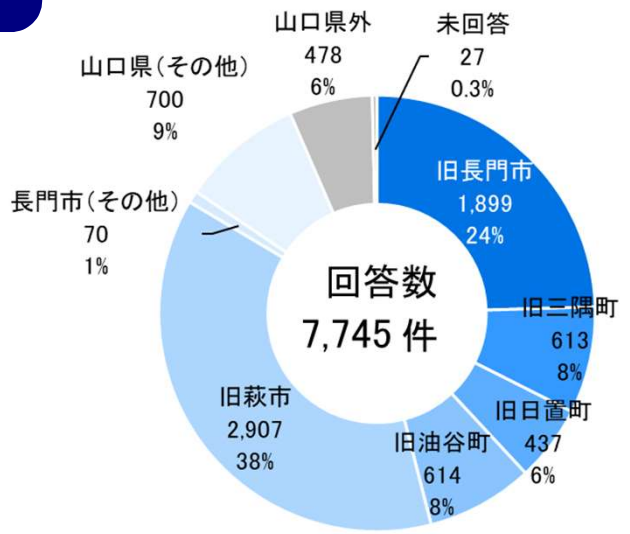
1) アンケート回答者の属性

○住民約5,500人、道路利用者約1,600人、事業所約650社から合計約7,750件の意見聴取を実施。
○回答者の性別は約7割が男性であり、年代としては60代までが約7割を占める。

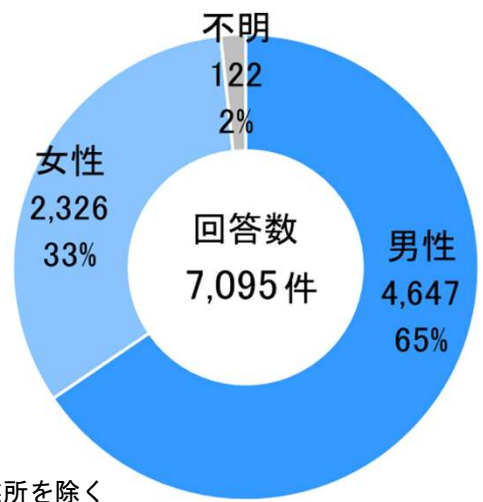
アンケート回収状況



回答者住所

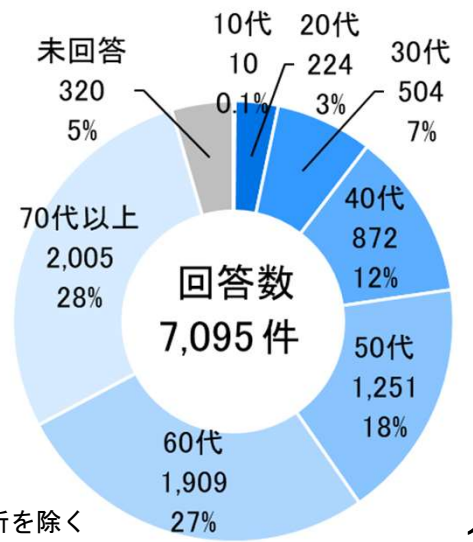


回答者性別



※事業所を除く

回答者年代



※事業所を除く

3. 第1回意見聴取の結果

2) 質問1「どのような道路にすべきか」

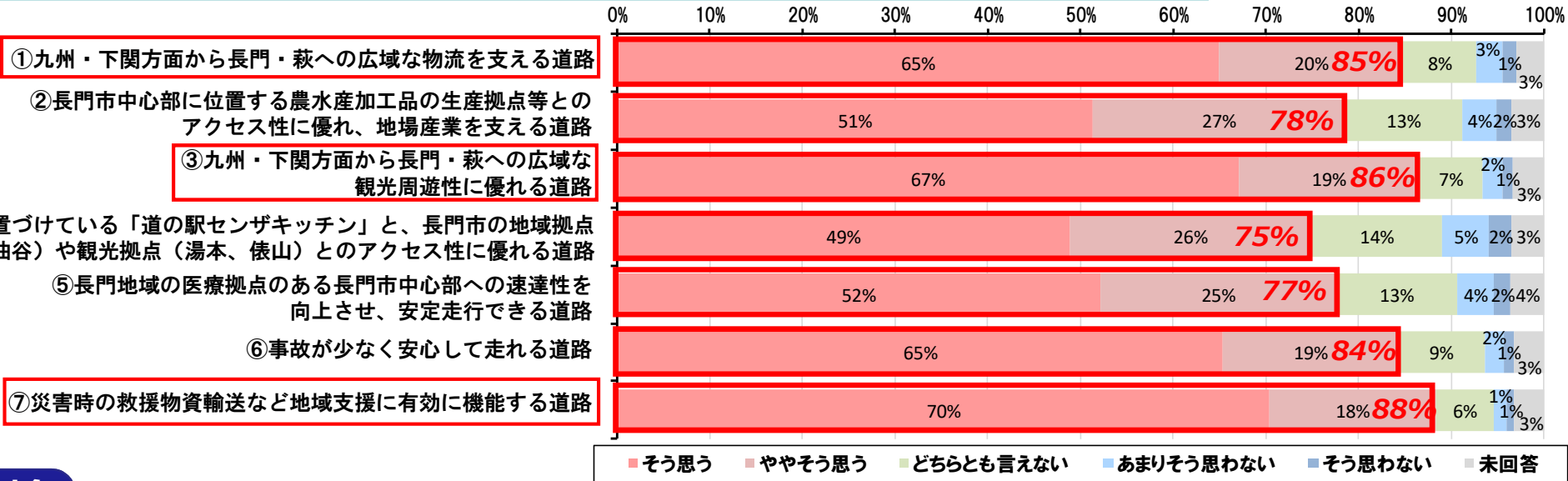
○「どのような道路にすべきか」という質問に対して「⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路」、「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路」、「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路」にすべきという声が多い。

○回答者属性別でもほぼ同様の傾向だが、道路利用者は「⑥事故が少なく安心して走れる道路」にすべきという声が多い。

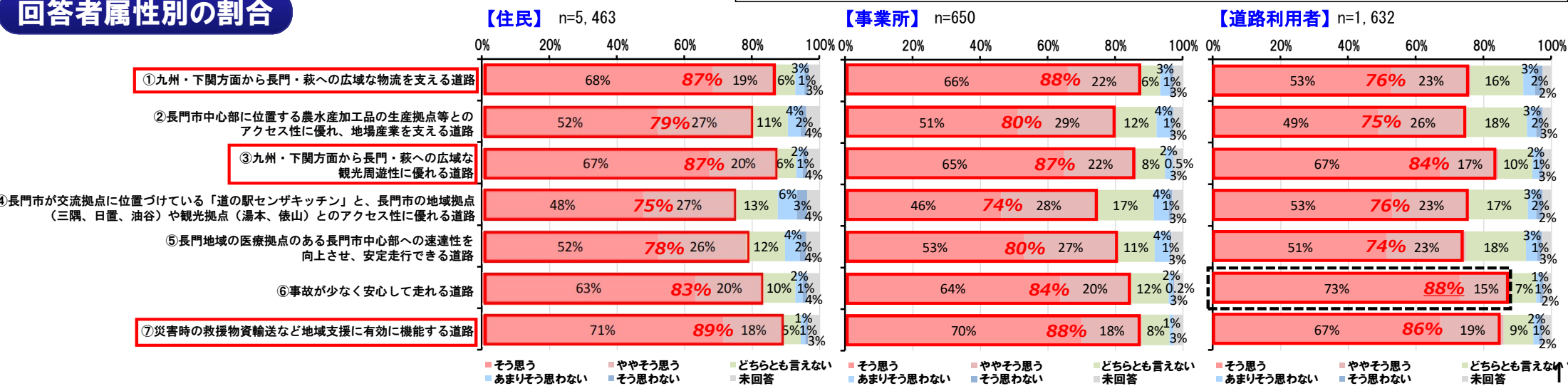
質問1 地域の将来も踏まえ、どのような道路にすべきと思いますか？ ※①～⑦について、5段階評価であてはまるものを選択

全体割合

n=7,745



回答者属性別の割合



3. 第1回意見聴取の結果

2) 質問1「どのような道路にすべきか」(自由意見①)

○観光や交通安全に関する自由意見が多くなっている。

	分類	回答者属性	主な意見
産業	物流に関する意見 【159件】	住民/旧萩市/40代女性	7月の豪雨災害時、山陽道が通行止めになり物流等かなりの影響を受けた。山陽道の迂回路としても機能するような道路を早急に整備してもらいたい。
		住民/旧萩市/60代男性	萩-長門から、九州・下関方面(俵山・豊田)へのアクセス性に優れた道路。中国自動車の小月～美祢間の事故や通行止め、通行規制が多い。
		ヒアリング(物流事業者)	現状では下関までつながっていないので利用価値が低い。下関までつながって初めて物流を支える道路と呼べる。
		ヒアリング(地元企業)	鮮魚を北九州や福岡へ輸送している。その日に揚がった魚をその日中に持って行く。
	地域産業に関する意見 【42件】	住民/旧長門市/80代以上男性	将来的には農産物だけでなく、産業上の流通コースになることを考えておくべきです。日置、油谷が工業地帯に発展する可能性をもっていることから。
		住民/旧長門市/70代男性	ICの位置、道路の通る場所により長門市全体が単なる通過点となる可能性が非常に大きいと思う。観光だけでは全く将来に希望は持てないので地場産業の発展につながる道路を計画してほしい。
		ヒアリング(農協)	道の駅センザキッチンができあがって、水産加工物、農産加工品の流通(出荷、入荷)スピードが勝負。流通がスムーズに行えることで、水産加工物が新鮮なうちに運べる。
		ヒアリング(地元企業)	仙崎漁港からの利用を考えると、出来るだけアクセスしやすい道路が望ましい。
観光	観光に関する意見 【236件】	住民/旧萩市/30代男性	山陰地域から九州・下関方面への旅行や観光で高速バス等に使われる道路。
		住民/旧萩市/50代男性	日本海側と瀬戸内側の交通をスムーズにし、観光の新しい可能性を生み出すのに必要な道。出来れば観光地へのアクセスを考慮した道路にして欲しい。
		ヒアリング(商工会議所)	萩、長門、美祢のトライアングルで周遊してもらうことを期待している。
		ヒアリング(観光協会)	山陰道という主軸がベースにあり、そこから角島、元乃隅といった人気観光地へのアクセスも容易になる。
	拠点アクセスに関する意見 【72件】	住民/旧油谷町/80代以上女性	「センザキッチン」があるのだからこの道路が役立つようにすると良い。現在の国道191号から入ると、せまい道路で渋滞する。せつかくのチャンスです。再考願いたい。
		住民/旧三隅町/60代男性	長門市は観光を中心とした産業(農・水産)で発展してきたと思います。今年オープンした「センザキッチン」についても、オープン当初は顧客の数は多いと予想されますが、いずれ減少すると思われます。県外顧客を広く来客してもらうには、交通の利便性を考慮し、早急に道路整備が必要と思われるます。
医療に関する意見 【46件】		ヒアリング(観光地)	通り過ぎてしまう可能性が高いため、センザキッチンへのアクセスを考えると中間ICが必要。できるだけ仙崎に近いところに。
		住民/旧長門市/50代男性	物流や観光面において重要な要因はあるが、やはり地元において救急、災害時のときに役立つ道路にしてほしい。
		道路利用者/下関市/50代男性	医療拠点のある長門市中心部への速達性を上げるなら、生活道としてできるだけインターチェンジを増やすべきである。
		ヒアリング(消防署)	緊急走行をする際に安全に走行できる道路であればとても助かる。
交通安全に関する意見 【211件】		ヒアリング(病院)	救急患者の受診・搬送にかかる時間の短縮や走行の安定が期待できる。
		住民/旧萩市/70代男性	高速道路になれば、信号機もなければ、途中から入って来る車も所定の場所以外はないので気を使わなくて済むので、交通事故も少なくなると思う。
		住民/旧萩市/50代女性	車で走っていてスムーズに走りたい人も、安全運転を心がけたい人もイライラせずに安心して走れる道路にしてほしいです。
		ヒアリング(バス会社)	安全で走りやすい道路ができると、事業の幅も広がるし、お客の乗り心地の良さなどにも良い影響があると思う。
		ヒアリング(消防署)	救急搬送などをする際に、事故の影響で搬送が遅れてしまうといけなないので、大きな事故などが起こらない道路であればいいと思う。

3. 第1回意見聴取の結果

2) 質問1「どのような道路にすべきか」(自由意見②)

○その他の意見としては早期整備や道路構造への要望が多くなっている。

分類		回答者属性	主な意見
災害(代替性)に関する意見【173件】		住民/萩市/50代女性	山陰全体をつなぎ、地域が発展できるようにするべき。現在、他に迂回路がないため、 災害の時には陸の孤島になってしまうのを防ぐ ようにする。
		住民/旧長門市/60代女性	災害の多い昨今、 災害に強い道路 。雨・地震等の災害時に生き残れる道路でないと救援物資輸送もできなくなりますし安全な所へ移動する手段になり得なくなるので耐震や冠水しない道路にしてほしいです。
		ヒアリング(農協)	通行止め時には 迂回路として機能 する。出荷は小さな車ではないため、どこでも通れるわけではない。
		ヒアリング(病院)	災害時の物資輸送や患者搬送 に有効に機能することができる。
その他の考慮すべき意見	早期整備【273件】	住民/旧萩市/70代男性	この地域の人口減少はいちじるしい。人、物の交流を良くして雇用を増やして人口減少を止めたい。 その為にも早くこの道路を完成させて欲しい。
		企業/鳥取市/運輸業	災害時復旧の観点から、山陽側山陰側の 高速網の早期整備が待たれる その一環であると思います。
	沿線地域のアクセス【126件】	住民/旧萩市/60代男性	センザキッチン・三隅・日置・油谷には、インターチェンジからアクセスできる道路の整備 を、確実に行うことで対処する。
		住民/旧長門市/60代男性	仙崎市街地、長門市中心部へのアクセス性を向上させる道路 にして欲しい。センザキッチン、ルネッサ長門、長門旧市街地をバイパスするような道路にして欲しくない。
	道路構造への要望【491件】	住民/旧長門市/50代女性	事故が起きにくい道路や、 逆走になりにくいよう にお願いしたい。
		住民/旧日置町/50代男性	対向4車線道路がよい 。2車線だと車の追越しやゆずりあいができない。
	高規格道路ネットワーク【202件】	住民/旧萩市/70代女性	山陰道が全線開通し、山陽道につながる ことが望ましい。
		企業/旧萩市/建設業	早く全線開通してこそ意味がある。 山陰道と陰陽連絡道との相乗効果で、山陰地区に陽があたる 、活性化する事業を早くする事が大切。
	休憩施設の設置【75件】	住民/旧長門市/50代男性	九州から、長門・萩方面への観光に資する道路であるがゆえ、 道路にSAを設け、特産品や食事場所等 を設けるとよい。
		道路利用者/下関市/50代男性	道の駅ほどではなくても、 トイレ休憩しやすい道路 にしてほしい。
	通行料金に関する意見【32件】	住民/旧萩市/70代男性	山陰道は、益田まで191号しかないので、災害発生を考慮して、是非必要です。早期にお願いします。 生活道路になるので、無料でお願いします。
		住民/旧萩市/50代男性	税金を使って作った高速道路 ちゃんとお金を取って欲しい 。
	高齢者への配慮【53件】	住民/旧萩市/50代女性	今は高齢者の方も多く運転されてます 。できれば追越車線が多かったり、2車線あると助かります。渋滞してることもありますから。
		企業/宇部市/運輸業	何事もなくれば現在でも不都合はないですが、より利便性が向上するので期待しています。 高齢者のドライバーが多い地域なので事故の起こりにくい道路にして欲しい 。
	建設費・管理費に関する意見【41件】	住民/旧萩市/70代女性	やっと山陰方面にも、薄日があたり始めた感があります。 多額の予算をかけられるのですから、実際に高所から観て、有効であるようにしていただきたい 。
		住民/旧萩市/60代男性	高速道との連絡をスムーズに出来ること。 道路維持、整備にお金がかからないこと 。災害に強い道路。
速達性の確保【126件】		住民/旧萩市/40代男性	とにかく 時間が短縮できるように した方が、各市町へのアクセスが早くなり、観光・物流が活性化すると考えます。
		住民/旧日置町/70代女性	萩・三隅道路のように 時速70km、80kmで走れる道路 にして頂きたい。
地域活性化【73件】		住民/旧萩市/60代男性	日本高速道路ネットワークに繋がる道路。 若者、移住、定住に繋がる道路・人口減少対策に繋がる道路 。時間が短縮され、広域での仕事が可能になる道路。少子高齢化対策に繋がる道路。
		企業/旧長門市/飲食・宿泊・サービス業	少子高齢化により、人口減少が懸念されている昨今、 地域の再生、活力は観光による交流人口の増加が最も重要 である。

3. 第1回意見聴取の結果

2) 質問1「どのような道路にすべきか」(自由意見③)

○その他の意見としては早期整備や道路構造への要望が多くなっている。

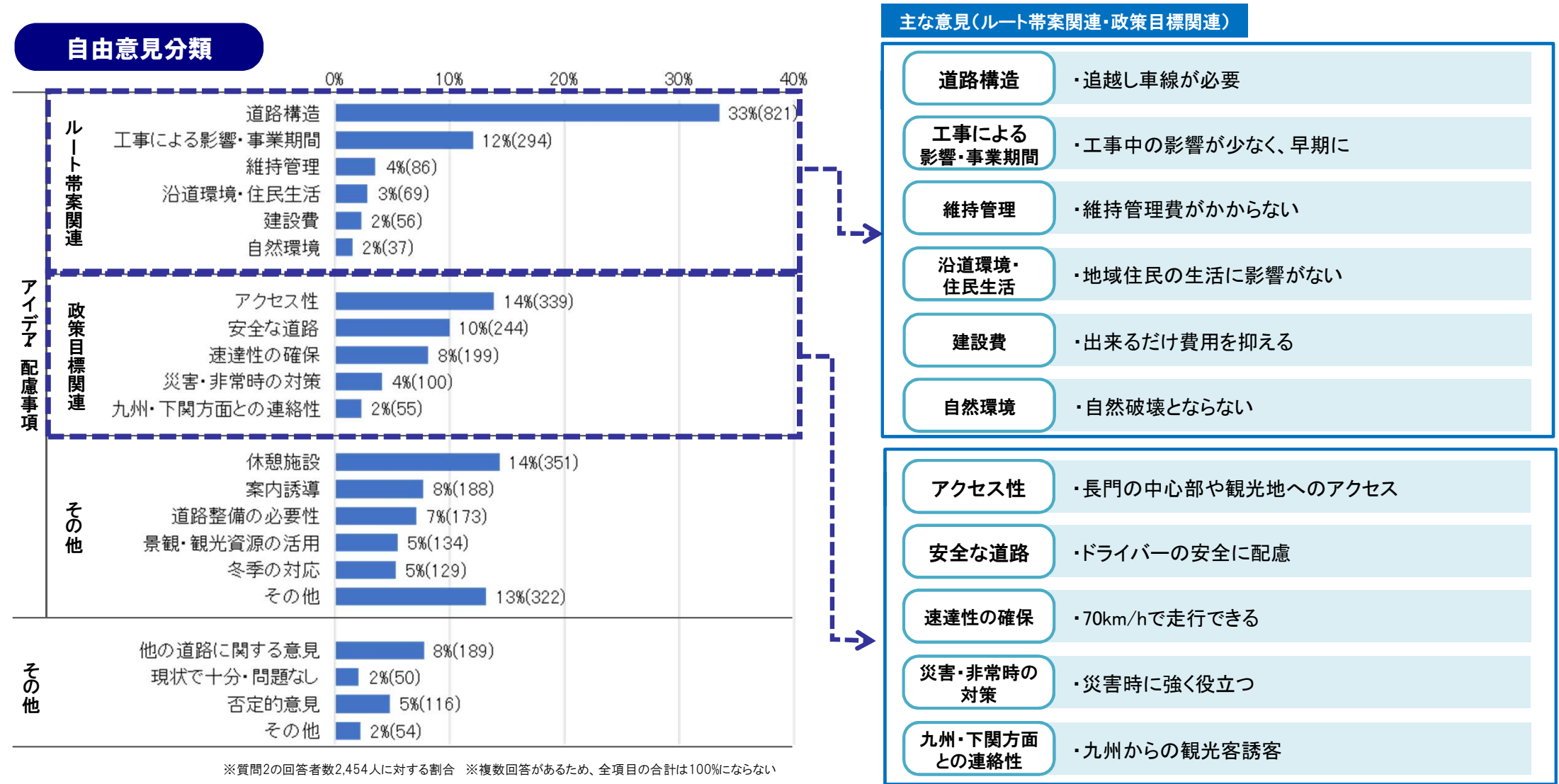
	分類	回答者属性	主な意見
その他の考慮すべき意見	地域住民の生活向上【37件】	住民/旧長門市/50代女性	一番多く利用するのは地域の人。生活道路であるまち望んだ道路にしてほしい。作って終わりではなく、そのあとのフォローをしてほしい。そして地域の人の意見を聞いて改善していくくらいであってほしい。
		企業/旧萩市/卸・小売業	観光・産業の面ばかりでなく、住民にとって利便の良いものかという事もしっかり検討してほしい。
	案内表示【45件】	住民/旧長門市/70代男性	萩・下関間で、長門市を素通りしてしまう可能性がある。長門に寄ってもらう、看板等でアピールする必要がある。
		住民/旧長門市/60代男性	将来、年配者が多くなるので、勘違いで逆走したりしない様、道路標示をしっかりと備えて欲しい。又、路側のヒナン帯を多く備えて頂きたい。自動運転に備えた道路にする事。1日も早い開通を望みます。
	ルートに関する意見【46件】	住民/旧萩市/30代男性	欲張って、いろいろな箇所を通るより、最短ルートにしてほしい。
		道路利用者/旧長門市/70代女性	山陰道が出来るのは、便利になるので良いが、通過地点になるのを心配する。市の活性化につなげるように、市内を通ることを希望する。若者の住みやすい市にするためにも、三隅から入る今の道は、是非必要と思う。
	景観・眺めの良い道路【33件】	住民/旧萩市/50代女性	無理な運転が起こらないような設計にしてほしい。美しい景色が楽しめるような道路がうれしいです。
		住民/旧油谷町/40代女性	遠方からも観光に訪れやすい道路で歴史や田舎ならではの景観や道はそのまま生かした道路がいい。
	自然環境への配慮【21件】	住民/旧長門市/60代女性	利便性も大切ですが、田畑・山の緑を生かしたものであって欲しいものです。
		住民/旧萩市/60代男性	環境への配慮、法面等に帰化・外来植物を使わない野生動物への配慮
	維持管理【40件】	住民/旧萩市/50代女性	トンネルや高架が多いと、将来修復が必要となってくる時に、今の少子化した日本にその能力があるのか？負の遺産を作らない努力をしてほしい。
		道路利用者/旧三隅町/50代男性	新しい道路の整備も必要ですが先々まで使いやすい安心して安全に使える道路となるようにメンテナンスをしっかりと継続して行ってほしいです。
	冬季の対応【96件】	住民/旧長門市/50代女性	冬期に凍ったり雪の多い場所があるので特に冬場の安全対策を十分行ってほしい。急カーブや坂の少ない安全な道路にしてほしい。
		住民/旧萩市/60代男性	雪や凍結はさけられない場所なのでメインは、トンネルを多く入れたほうが良い。
自転車・歩行者【25件】	住民/旧長門市/50代女性	観光客、物流トラックが増える可能性があるのなら、歩行者・自転車の安全確保も併せてご検討頂けると幸いです。	
	住民/旧日置町/30代男性	広い歩道は不要である。現状は広すぎる。それよりも、路肩を広げてほしい。自転車が走りやすい道路も考えて下さい。	
その他の意見	他の道路に関する意見【179件】	道路利用者/旧長門市/60代男性	平成31年開通予定の長門俵山道路の区間では、正直効果は薄いと思う。せめて西ノ市の先まで早く繋げてほしい。俵山方面に向かう際に、道路の幅が狭い所やカーブが連続する所があり、危ない。
		住民/旧三隅町/70代男性	九州、下関方面への道路状況が悪い。特に豊田湖周辺の道路が悪いので、俵山-下関（豊田道の駅）間の道路を早急に整備すべきと思う。
	その他【53件】	住民/旧萩市/40代男性	都会の人があんな田舎に道路はいらないと言うような声に負けずにしっかりした道路が欲しい。
	否定的意見【117件】	企業/下関市/卸・小売業	長門、三隅間に関しては、現状のバイパスでも、今の所は不便は感じていません。豊田～俵山間の山道さえ、通りやすくなれば・・・。
		住民/旧三隅町/50代男性	山陰道の建設ありきで話が進みますが、私は建設には反対です。現状の道路だけでも十分すぎると思いますし短縮される時間、事故、今後の整備費用等考えても効果は限定的。
住民/旧萩市/40代男性		災害時に必要だということで、山陰道を作らないといけなくのことだが、ただか10万人程度のために、何千億とお金を掛けて作る必要性はない。通常まったく困っておらず、災害時はどんな場所でも困るのだから、山口県に山陰道は必要ない。	

3. 第1回意見聴取の結果

3) 質問2「利用しやすい道路となるためのアイデアや、懸念事項、配慮した方が良いこと」

○「利用しやすい道路となるためのアイデアや、懸念事項、配慮した方が良いこと」という質問に対して、ルート帯案関連では「道路構造」、「工事による影響・事業期間」についての意見が多く寄せられており、政策目標関連では「アクセス性」についての意見が多く寄せられている。

質問2 その他、利用しやすい道路となるためのアイデアや、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどについて、ご自由にお書きください。



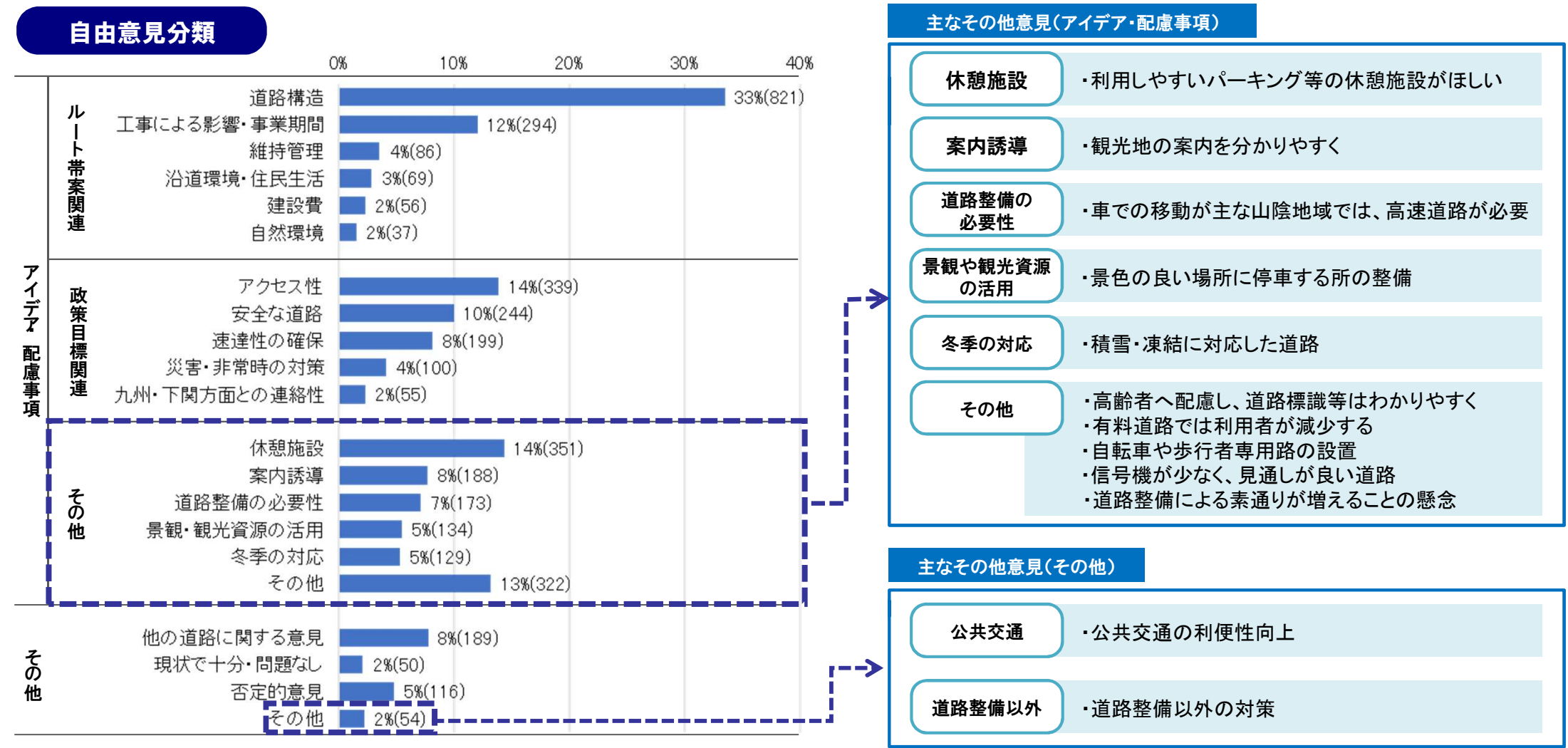
※質問2の回答者数2,454人に対する割合 ※複数回答があるため、全項目の合計は100%にならない

3. 第1回意見聴取の結果

3) 質問2「利用しやすい道路となるためのアイデアや、懸念事項、配慮した方が良いこと」

- 「利用しやすい道路となるためのアイデアや、懸念事項、配慮した方が良いこと」という質問に対して、その他では、「休憩施設」等についての意見が多く寄せられている。
- その他の意見としては「公共交通」等についての意見が多く寄せられている。

質問2 その他、利用しやすい道路となるためのアイデアや、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどについて、ご自由にお書きください。



※質問2の回答者数2,454人に対する割合 ※複数回答があるため、全項目の合計は100%にならない

3. 第1回意見聴取の結果

3) 質問2「利用しやすい道路となるためのアイデアや、懸念事項、配慮した方がよいこと」(自由意見①)

■自由意見【アイデア・配慮事項（ルート帯関連）】

分類	回答者属性	主な意見
道路構造に関する意見【821件】	住民/旧長門市/60代男性	低速走行する車両もあると思うので、 追越可能な車線 も必要ではと考える。出来れば 片側2車線 が望ましい。
	企業/旧萩市/医療・福祉	片側1車線で、 追い越しができない区間が長いと、高速道路としての意味がない 。ところどころに 追越区間 を設け、 区間の数を多くする 必要がある。
	住民/旧長門市/30代男性	まず日本を含めた対面通行型道路は、工事のしやすさのみを優先しており、人命を二の次にしている。人命を第一に大切なものと考えたならば、今のような道路のつくりにはなっていないと思われる。人の命を最も大切に した道路づくりに専念してほしい 。 車両同士が正面衝突をしないようなつくり にしてほしい。
	住民/旧長門市/60代男性	時間短縮は数分であっても、 道幅がありカーブの少ない運転しやすい道路 。萩・三隅道路では、以前の鎖峠を通る道と比べて、気分的にすごく楽で、ものすごく早く感じる。そういう道路に下さい。
	道路利用者/山口市/50代男性	極端なカーブや上り下りなどの無い、なるべくなめらかな道路 を望みます。
	住民/旧萩市/60代男性	トンネルの数を少なく した方がよい。休憩場所を多く設け、たのしめる場所をふやした方がよい。
工事による影響・事業期間に関する意見【294件】	住民/旧長門市/60代女性	道路 工事中 の時、 車の流れをさまたげる事を少なく してほしいです。
	住民/旧長門市/40代女性	今あるバイパスをうまく使って 工事期間不便が無い ようにしてほしい。
	住民/旧長門市/50代男性	作るなら早くする。5～10年で完成させるべき 。20年、30年などと言っていては、長門市が存在しているかわからない。どれくらいの間が残っているのか。時間がかかるなら作らない方がよい。 ただの環境破壊になる 。
	住民/旧長門市/60代男性	三隅～長門間が優先区間になって、事業化の進捗が遅いのではないかと。全体が 早期につながるよう に、 手続きを急ぐ べき。
	ヒアリング(消防署)	緊急時の追越しの際の 工事中の影響が懸念 される。工事中の片側交互通行による渋滞が長期間あると困る。
	ヒアリング(バス会社)	工事中のダンプカーが出入 する道路の土汚れがひどい。山中での作業なので仕方がないが、工事の汚れがバス車両に付いて車両が汚れてしまう。工事中に道幅が狭くなるため、離合する際には注意が必要。
維持管理に関する意見【86件】	住民/旧萩市/70代男性	道路整備は大賛成だが以前のように公園や手間にかかる植木は不必要であり後々 維持管理費がかからないよう シンプルにする。
	住民/旧萩市/30代男性	道路の維持管理について、道路を作ったら作ったきりで 維持管理に対する部分に不満 を感じる。
沿道環境、住民生活に関する意見【69件】	住民/旧萩市/50代女性	道路周辺の住民の方が住みにくくならないよう にしてほしい。騒音、通行する車の振動など新しい道路周辺の住民の方ができてよかったと感じる環境にしてほしい。
	住民/旧萩市/20代女性	自然環境への配慮。 地域住民の生活に支障のないよう にお願いします。
	住民/旧長門市/60代男性	優良農地や果実園等、 生活の基盤としている箇所 に配慮して、整備していただけたらと思います。
建設費に関する意見【56件】	住民/旧萩市/60代男性	新幹線や高速道路等の基幹路線が山陽と比較して、山陰は劣っている。産業振興及び人口減を防ぐ意味での路線整備は必要と思うものの、日本全体の人口減及び労働人口減、少子高齢化の流れの中では 出来るだけ費用を抑えた必要最小限の整備 に留めるべきと考える。国の財政健全化を念頭に推進すべき。
	道路利用者/大阪府/30代女性	予算をかけ過ぎない よう、しっかり計画を立てて、整備をしてほしい。
	住民/旧萩市/70代男性	191号線三隅バイパスはカーブが無く道幅も広いこれを山陰道に転用すれば良い 費用と時間の節約 のため。
自然環境に関する意見【37件】	住民/旧長門市/60代女性	長門は、自然豊かで、きれいな海と山があり、動物も沢山います。 生態系を崩さず、自然破壊にならないよう にお願いします。
	住民/旧萩市/40代女性	今ある 自然を極力こわさない こと災害に強くあること。自然に近い構造。

3. 第1回意見聴取の結果

3) 質問2「利用しやすい道路となるためのアイデアや、懸念事項、配慮した方が良いこと」(自由意見②)

■自由意見【アイデア・配慮事項（政策目標関連）】

アンケート自由意見回答者数:2,452人、ヒアリング回答件数:26件

分類	回答者属性	主な意見
アクセス性に関する意見 【339件】	住民/旧長門市/40代男性	仙崎湾奥にはアルミネ・フジミツという 長門主要企業 があり、物流の拠点であるインターチェンジ(小浜)設置は、今後更なる企業投資促進につながると考えます。仙崎湾奥の港湾化により、 陸海交通拠点化 を目指すことやPA・トラックステーション設置で、長門に新しい産業が根付く可能性も秘めています。長門の地方創生を小浜IC設置でぜひ支えていただきたい思いです。
	住民/旧萩市/30代女性	到着地点を 街の中心 にしてほしい。可能なら、 大きい病院とかには直通 ぐらいの道があったほうが、いざというとき助かると思う。
	ヒアリング(商工会議所)	長門の観光拠点である 仙崎地区(小浜) にICが設置されると良い。長門市を通過するだけでなく、 市内各地へアクセスしてもらうことが重要 。
	ヒアリング(農協)	インターチェンジは中間地 に必要。九州方面に物流があるのでアクセスが重要。
	ヒアリング(観光地)	センザキッチン を 素通り されることを懸念している。
安全な道路 【244件】	住民/旧日置町/50代女性	道路がよくなると、スピードが出やすくなるので、 ドライバーの安全意識をたかめるような、表示等が必要 になるかと思います。
	道路利用者/熊本県/70代男性	道幅が広くて安全な道 を作ってほしい。
速達性の確保 【199件】	住民/旧萩市/30代男性	周辺の観光施設へのアクセスも重要だが、 基本的には最短ルートとするべき 。そこから、アクセス道路を整備して観光施設に行けるようにしてほしい。
	住民/旧油谷町/60代男性	災害時や観光のアクセスを考えるのであれば 三隅萩間のように70kmの道にする方が物流がスムーズ である。三隅萩が良い例で萩が身近に感じるようになった。
災害・非常時の対策 【100件】	住民/旧萩市/40代女性	災害時、事故時に 陸の孤島とならないためにも高速道路は現道活用ではなく、 別線バイパスが望ましい 。
	ヒアリング(病院)	雨や雪で通行止めにならないような道路 。
九州・下関方面との 連絡性 【55件】	住民/旧三隅町/60代男性	福岡県(九州)からの産業、観光の目玉 にしてほしい。
	住民/旧長門市/60代男性	下関・長門ルートは、九州からの観光客誘致に有効 。私は大分県出身者だが、やはり山陰は一度行ったら、次は行かない人が多いようだ。道路整備が良好でないとの理由であるようだ。県内の視点でなく、九州との流通経路として、早急に完成させて欲しい。

■自由意見【アイデア・配慮事項（その他）】【1／2】

アンケート自由意見回答者数:2,452人、ヒアリング回答件数:26件

分類	回答者属性	主な意見
休憩施設に関する意見 【351件】	住民/旧萩市/30代女性	道の駅センザキッチンも、主要な道路から離れており、立ち寄りづらいので、 沿線に道の駅のような施設があれば良い と思います。
	ヒアリング(観光協会)	パーキングエリアの充実 。特にトイレはこだわってほしいと思います。
	ヒアリング(バス会社)	観光バスで利用する際、 利用しやすいパーキング等の休憩施設 がほしい。バスはお客様を乗せる為、連続運転は2hで休憩する必要がある。
	ヒアリング(物流事業者)	4hに1回休憩するため、 道の駅や休憩場所の整備 。尿を排泄したペットボトルの投棄など高速道路上への不法投棄の削減にもなる。観光客も来やすい。
案内誘導に関する意見 【188件】	住民/旧萩市/70代女性	地域拠点や 観光案内を分かりやすく見えやすい位置に標示 してほしい。場所によっては、見すごしてしまい通り過ぎてしまうことがあります。
	道路利用者/佐賀県/60代女性	観光地に来る際、 案内掲示板が少なく困った ので増やしてほしい。
	ヒアリング(観光地)	標識を分かりやすく してほしい。～から～までだけでなく目的地がわかりやすくしてほしい。目的地が分かりやすい標識の設置。どの道からでも、どの方向からでも、目的地へ行けるような標識がほしい(距離もあわせて記入)。
道路整備の必要性 【173件】	住民/萩市/50代女性	子どもたちが、この山陰地域で暮らしたい、起業したいと思うためには、 最低限道路は必要 。早急な開通を願う。
	道路利用者/旧萩市/50代男性	車での移動が主な山陰地域では、 高速道路が特に必要であり 、未整備区間である益田～萩の早期整備を要望する。一般道とのアクセス性が良い道路、パーキングエリアでのスマートICの活用。

3. 第1回意見聴取の結果

3) 質問2「利用しやすい道路となるためのアイデアや、懸念事項、配慮した方がよいこと」(自由意見③)

■自由意見【アイデア・配慮事項(その他)】(2/2)

分類		回答者属性	主な意見
景観や観光資源の活用【134件】		住民/旧萩市/60代女性	景色の良い場所に停車する所があればゆっくり景色が見れて良いと思います。それでもこんなに良い道が出来ただけでも大変ありがたいことだと思っております。
		住民/旧萩市/20代男性	長門湯本温泉観光まちづくり計画のためにも早急な対応が必要。観光業界においても山陰道の開通率の低さを山口県全体としてもっと自覚すべきである。客もお金も逃げている。
冬季の対応【129件】		住民/旧萩市/60代男性	山陰地方は冬が厳しく、積雪・凍結に対応した道路であってほしい。
		住民/旧長門市/40代男性	生活道路として利用する場合は無料か割安料金で利用出来ること。冬季は雪の心配があるので雪に強い対応した道路にしていきたい。
その他	高齢者への配慮【92件】	住民/旧萩市/60代男性	高齢化社会で、運転する高齢者の増加も考えられるので、道路標識等、見やすくなりやすいものが良いかと思います。
		住民/旧三隅町/60代男性	少子高齢化人口減の一途、地域住民の安全・安心の道路整備を望む。シルバーゾーンの設置など特に高齢者運転にやさしい道路整備を願います。
	通行料金【91件】	住民/旧三隅町/60代男性	全線開通時の料金はどうか。現在の無料での利用が有料になった場合、元の旧道路に戻り、利用が減少しては意味が無い。
		住民/旧日置町/40代男性	三隅～萩の無料区間の継続。通行料金の低価格設定。
	歩行者・自転車への対応【48件】	住民/旧油谷町/50代女性	歩道を広くして、下関～三隅までの国道191号線は、サイクリングで日本一周している若者を時々見かけるので、自転車や歩行者用のコースを新設して欲しい。WCは必ず和式WCを設置して欲しい。
		住民/旧萩市/50代男性	自転車専用道路も併設すると観光客の増加につながると思う。
	渋滞に配慮し信号が少ない道路【31件】	住民/旧萩市/60代男性	信号を少なくすみやかに走行できる道路。
		道路利用者/旧萩市/70代男性	バイパスを通すならば、信号機が少なくて見通しが良い道路にしてほしい。災害が起こった際にも、通行できるバイパスを希望する。
素通り等の懸念【66件】		住民/旧長門市/60代男性	長門IC～三隅IC間で出口がなければ「センザキッチン」も素通りの懸念も。
		住民/旧長門市/70代男性	長門市が通過点とならないための工夫をすべきである。

■自由意見【その他】

分類		回答者属性	主な意見
他の道路に関する意見【189件】		住民/旧長門市/50代男性	豊田～小月間の事業化も早期に取り組んでほしい。連続した道路でないと利便性は低い。
		住民/旧油谷町/80代男性	長門市～下関市間の海岸線の町は過疎化がスピードアップする。この間の道路整備を平行して実施すべきです。
現状で十分・問題なし【50件】		道路利用者/下関市/20第男性	新しい道も必要だが、現状で十分便利に利用させてもらっている。景観、木々の手入れも必要だと思う。
		道路利用者/福岡県/40代男性	北九州市に比べて、こちらは道路も広くて全然走りやすいので、今のままで良いと思う。
否定的意見【116件】		住民/旧日置町/60代男性	市内の人口減少で、交通量が少なくなるので道路を作る必要はない。
		住民/旧三隅町/50代男性	地域の農業者として、この区間三隅～長門には反対する。特に三隅地域、長門の観光の為にも必要ない。
		道路利用者/周南市/60代男性	三隅～長門間を整備する必要性を感じない。整備するなら、何のために整備するかを、もっとアピールした方がよい。
その他【54件】		住民/旧萩市/50代女性	観光地がパツとしない。リピーターは少ない。そういうところ、もっと改善していけば道路の利用も増える。ただ、道を作れば良いというだけではない。

3. 第1回意見聴取の結果

4) 自治体ヒアリング結果

○自治体からは、「産業振興」や「観光振興」、「災害時の代替路確保」、「中間IC設置」などに関する意見が寄せられている。

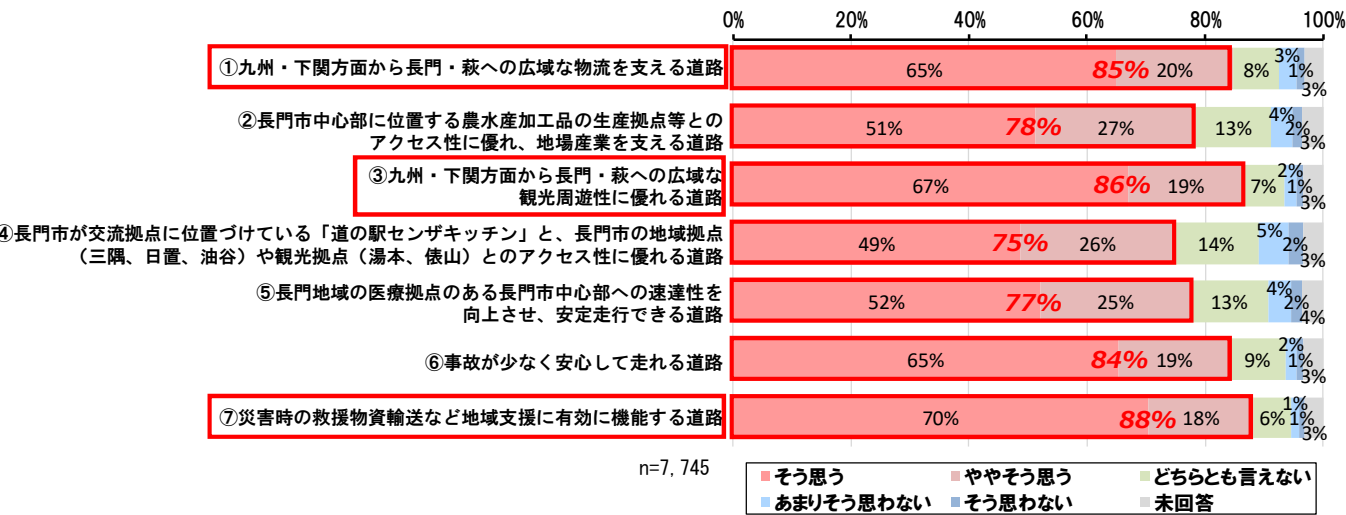
自治体	主な意見
山口県	・仙崎が水産業の拠点（仙崎港、センザキッチンなど）、JA関係の開発地が市内に点在しており、アクセスが重要である。また、臨海部には生産拠点が集中しており、中間ICが必要である。 ・生鮮食料品は速達性が重要であり、市場へのアクセス性向上が必要である。 ・「萩・津和野間」「長門・萩間」「下関・長門・萩間」の連絡強化により、誘客が期待される。また、九州地方からの観光客の増加が期待される。 ・「長門湯本温泉まちづくり計画」への支援により、来客数の増加が期待される。 ・防災活動（物資の輸送、避難等）に関して寄与することが期待され、中間ICの整備により、防災活動がより円滑になることが期待される。
長門市	・道の駅センザキッチンなどの物産直販施設は、山陰道の早期整備時の誘客の重要な要素となる。 ・俵山～豊田間に加え、三隅～長門間が開通すれば、下関市～萩市間の移動時間の短縮が図られ、物流の向上が期待できる。更に、豊田～下関JCT（中国道）間が開通すれば、九州エリアから萩市までが直接高速道路でつながり、より広域な物流を支える道路となる。 ・観光地間の移動時間の短縮を図ることができるので、周遊性が向上すると考えられる。 ・地域医療を考えた場合、安定走行できる道路は必要である。 ・一般道は被災しやすく、高速道路があれば、迂回路として機能するだけでなく、災害発生時の迅速な対応や支援活動が可能となる。 ・単なる通過交通を処理するだけでは、地元としてのメリットが少ないので、中間ICが必要である。

3. 第1回意見聴取の結果

5) まとめ

- 「どのような道路にすべきか」という質問に対しては「⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路」にすべきとの意見が多い。
- 自由意見では、アイデアや配慮事項として「道路構造」に関する意見が多く寄せられている。
- 自治体からは、「産業振興支援」「観光振興支援」「医療支援」「災害時の代替路」等に関する意見が寄せられている。

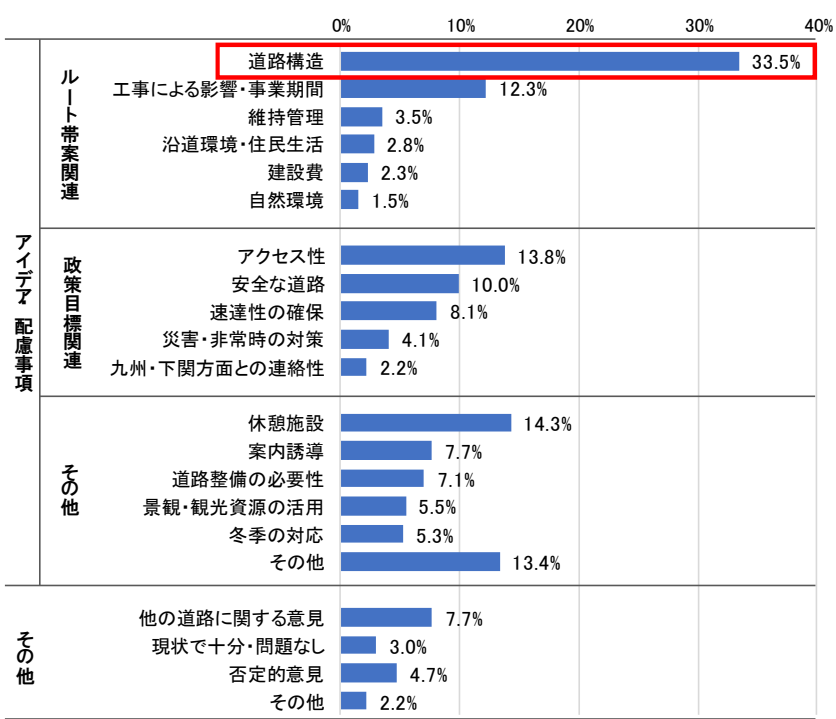
どのような道路にすべきか（アンケート）



自治体の主な意見（ヒアリング）

産業振興の支援に関する意見	・仙崎が水産業の拠点、JA関係の開発地が市内に点在しており、アクセスが重要である。【山口県】 ・俵山～豊田間に加え、三隅～長門間が開通すれば、下関市～萩市間の移動時間の短縮が図られ、物流の向上が期待できる。更に、豊田～下関JCT(中国道)間が開通すれば、九州エリアから萩市までが直接高速道路でつながり、より広域な物流を支える道路となる。【長門市】
観光振興の支援に関する意見	・道の駅センザキッチンなどの物産直販施設は、山陰道の早期整備時の誘客の重要な要素となる。【長門市】 ・「萩・津和野間」「長門・萩間」「下関・長門・萩間」の連絡強化により、誘客が期待される。また、九州地方からの観光客の増加が期待される。【山口県】 ・観光地間の移動時間の短縮を図ることができるので、周遊性が向上すると考えられる。【長門市】
医療の支援に関する意見	・地域医療を考えた場合、安定走行できる道路は必要である。【長門市】
災害時の代替路に関する意見	・防災活動(物資の輸送、避難等)に関して寄与することが期待され、中間ICの整備により、防災活動がより円滑になることが期待される。【山口県】 ・一般道は被災しやすく、高速道路があれば、迂回路として機能するだけでなく、災害発生時の迅速な対応や支援活動が可能となる。【長門市】
中間ICに関する意見	・臨海部には生産拠点が集中しており、中間ICが必要である。【山口県】 ・単なる通過交通を処理するだけでは、地元としてのメリットが少ないので、中間ICが必要である。【長門市】

自由意見



※質問2の回答者数2,454人に対する割合 ※複数回答があるため、全項目の合計は100%にならない

3. 第1回意見聴取の結果

5) まとめ（中間ICへの意見）

○自由意見の回答において、中間ICに関する意見を整理すると、質問1及び質問2のそれぞれで、全意見の約1割の意見が中間ICに関する意見として寄せられている。

質問1:「どのような道路にすべきか」(中間ICへの自由意見①)

地域産業に関する意見【42件】	仙崎漁港からの利用を考えると、出来るだけ アクセスしやすい道路 が望ましい。(ヒアリング(地元企業))
拠点アクセスに関する意見【72件】	「センザキッチン」があるのだからこの道路が 役立つようにすると良い 。現在の国道191号から入ると、せまい道路で渋滞する。せっかくのチャンスです。再考願いたい。(住民/旧油谷町/80代以上女性)
	長門市は 観光を中心とした産業 (農・水産)で発展してきたと思います。今年オープンした「センザキッチン」についても、オープン当初は顧客の数は多いと予想されますが、いずれ減少すると思われます。 県外顧客を広く来客 してもらうには、交通の利便性を考慮し、早急に道路整備が必要と思われます。(住民/旧三隅町/60代男性)
医療に関する意見【46件】	医療拠点のある長門市中心部 への速達性を上げるなら、生活道としてできるだけインターチェンジを増やすべきである。(道路利用者/下関市/50代男性)
沿線地域のアクセス【126件】	センザキッチン・三隅・日置・油谷には、 インターチェンジからアクセスできる道路の整備 を、確実に行うことで対処する。(住民/旧萩市/60代男性)
	仙崎市街地、長門市中心部へのアクセス性を向上させる道路にして欲しい 。センザキッチン、ルネッサ長門、長門旧市街地をバイパスするような道路にして欲しくない。(住民/旧長門市/60代男性)
地域活性化【73件】	アクセスが良くなれば活性化 するが、素通りされる町は衰退してしまうことが多いので、その辺りを考慮できる道路。(道路利用者/北九州市/50代男性)
地域住民の生活向上【37件】	道の駅にアクセスしやすい道路にしてほしい 。地元の人が利用しやすい道路にしたら良い。(道路利用者/山口市/40代男性)

※アンケート自由意見:全3,242件 内中間IC関連396件(12%)

質問2:「利用しやすい道路となるためのアイデアや、懸念事項、配慮した方が良いこと」(中間ICへの自由意見②)

アクセス性に関する意見【339件】	仙崎湾奥にはアルミネ・フジミツという 長門主要企業 があり、物流の拠点であるインターチェンジ(小浜)設置は、今後更なる企業投資促進につながると考えます。仙崎湾奥の港湾化により、 陸海交通拠点化 を目指すことやPA・トラックステーション設置で、長門に新しい産業が根付く可能性も秘めています。長門の地方創生を小浜IC設置でぜひ支えていただきたい思いです。(住民/旧長門市/40代男性)
	物流や観光に十分役立つ道路にする為にも IC(インターチェンジ)の場所には配慮願いたい 。(住民/旧長門市/40代男性)
	長門の観光拠点である 仙崎地区(小浜)にIC が設置されると良い。長門市を通過するだけでなく、 市内各地へアクセスしてもらうことが重要 。(ヒアリング(商工会議所))
	インターチェンジは中間地に必要 。九州方面に物流があるのでアクセスが重要。(ヒアリング(農協))
素通り等の懸念【66件】	長門市が 通過点とならないための工夫 をすべきである。(住民/旧長門市/70代男性)

※アンケート自由意見:全4,122件 内中間IC関連405件(10%)

(参考) 関係機関ヒアリング

新型コロナ感染症の拡大・令和2年7月豪雨に伴う道路利用者の動向・ニーズ等

○感染症による影響はいずれの分野においても生じており、対策や終息後を見据えた取り組みにおいて山陰道への期待が大きい。
○令和2年7月豪雨により、長門市内への救援路の確保の必要性が再認識されている。

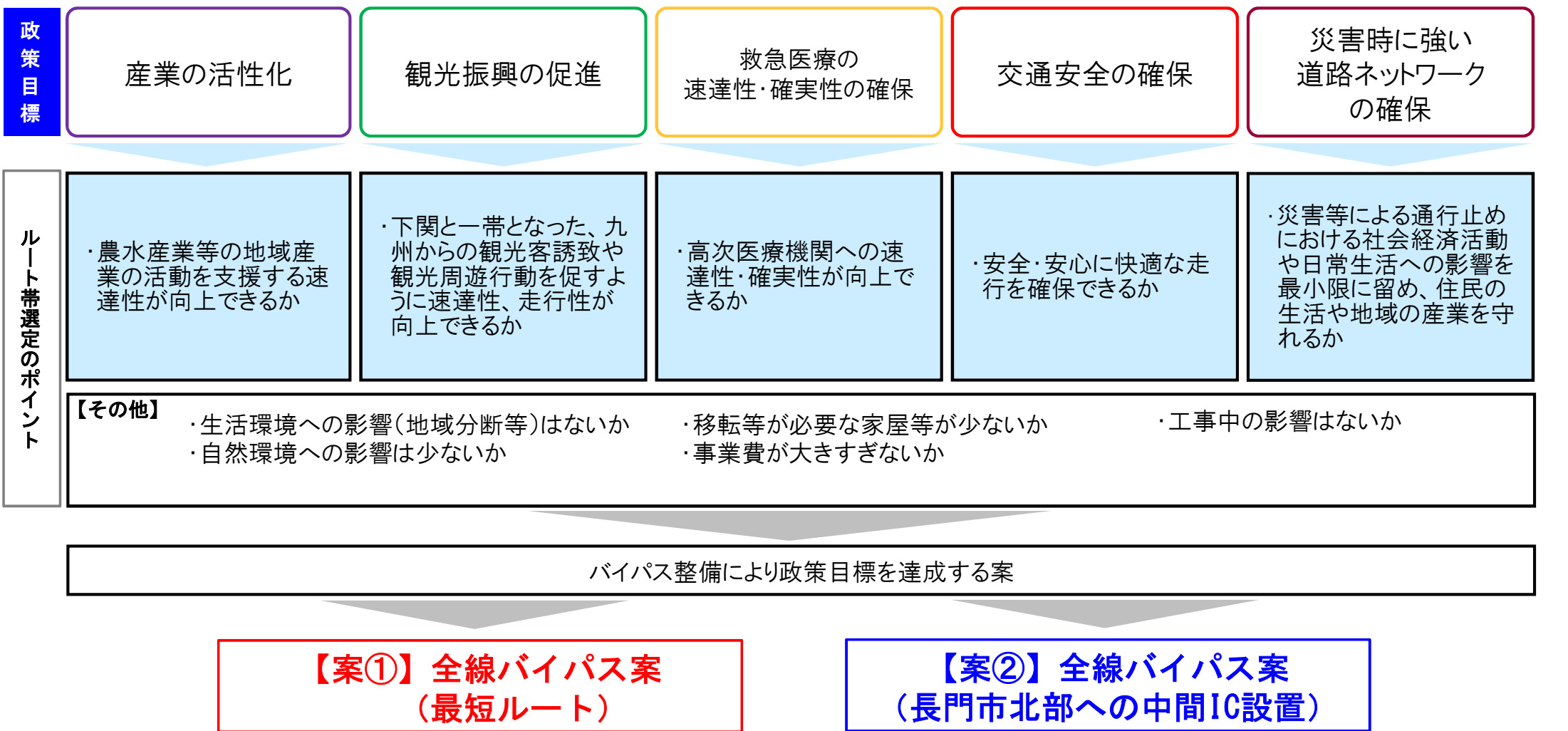
対象		主な意見
物流	物流業者	・新型コロナの影響による荷物の取り扱い量の減少は、約5%程度であり、全国的な傾向と比べて緩やかである。 ・今後の貨物量の増加を見越して、自社運行貸切便の営業を強化する方針であり、 道路整備による効率化・労務環境の改善に期待 している。
観光	長門市観光政策課 長門市観光コンベンション協会	・新型コロナの影響で、例年の5月の大型連休なら多くの観光客で賑わうところが、市内宿泊施設や観光施設、道の駅センザキッチンが休業・休館となり、観光客数は大きく落ち込んだ。 ・感染症終息後を見据えた取り組みとして、市内宿泊者に市内店舗等で使える商品券を配布する施策を行っているほか、 今後の山陰道延伸も見据えて、県内・近県といったマイカーでの来訪が想定される近隣圏域をターゲットとした情報発信、首都圏・関西圏などの主要市場に向けての情報発信を行う事業を展開 している。
農林水産業・畜産業	長門市農林水産課	・新型コロナの影響で観光産業が大打撃を受け、販路が閉ざされた。また、高級品として流通する農林水産物(和牛肉、地鶏肉、魚介類、贈答用花卉)の需要が低迷し、在庫を抱えると共に価格が下落し、売り上げが激減した。 ・農林水産業は本市の基幹産業であり、その直面する最重要課題である「所得向上」及び「担い手の育成確保」に向けて、 農林水産分野で成果を収めた企業等を誘致 し、生産ロットの確保や生産性の向上、生産物の高付加価値化に取り組むこととしており、 山陰道の整備により製品の鮮度保持、品質の向上が期待でき、敏速に市場ニーズを充足する対応が可能 となり、地域間競争力の強化とともに都市部におけるマーケット拡大につなげていきたい。
企業活動	長門市産業戦略課	・新型コロナの影響で、消費活動や経済活動が縮小し、本市の基幹産業である観光産業などの業績が悪化しているため、市内事業所の廃業・倒産を防止し、雇用を維持するための緊急経済対策を各局面に応じ講じてきた。 ・今後は、光ファイバーなど情報通信網整備や自然環境の良さなど、長門地域の優位性を活かした企業誘致の対策を強化する予定である。 山陰道が無い ため交通アクセス性が低いことが誘致を行う上でのネックとなっているため、 山陰道の早期整備が必要 である。
防災	長門市防災危機管理課	・市外から長門市への交通路は、山地を通過せざるを得ず、土砂災害警戒区域が散在し、また、大雨による通行制限が設定されているため、 災害時には孤立の可能性が否定できない。人員・物資等の救援路確保の重要性が極めて高いもの と認識している。
	長門商工会議所	・過去の大雨による土砂崩れにより、道路が寸断し迂回を余儀なくされ、通勤・通学、輸送面に多大な悪影響を及ぼした。迂回路の道路状況が万全でなく、今後、交通手段が全く確保できない状況が発生する可能性がある。 ・ 今後の山陰道の整備による迂回路の確保は、生活面および経済面に多大な効果を及ぼす。

4. 対応方針（原案）の検討

4. 対応方針（原案）の検討

1) 対応方針（ルート帯案）の考え方

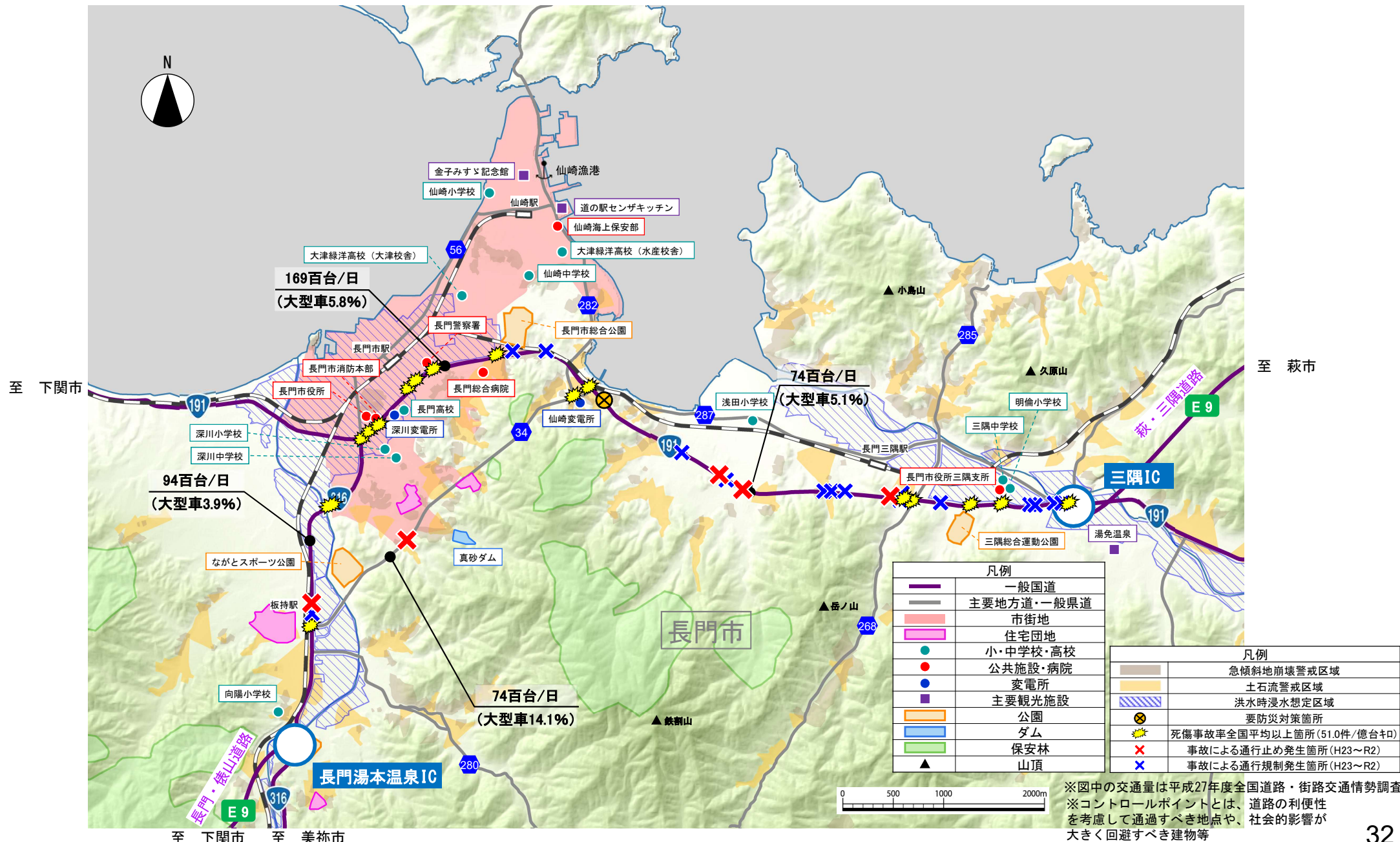
- 第1回意見聴取で地域の課題や政策目標などについて確認したことから、コントロールポイントなどを踏まえてルート帯案を設定する。
- 東西区間が既にバイパスで整備されており、ネットワーク化することにより効果的に政策目標を達成するバイパス案について検討する。
- 設定したルート帯案が各政策目標にどのように資するのかなどを整理し、第2回意見聴取で地域がより重視する政策目標を設定することで、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認する。



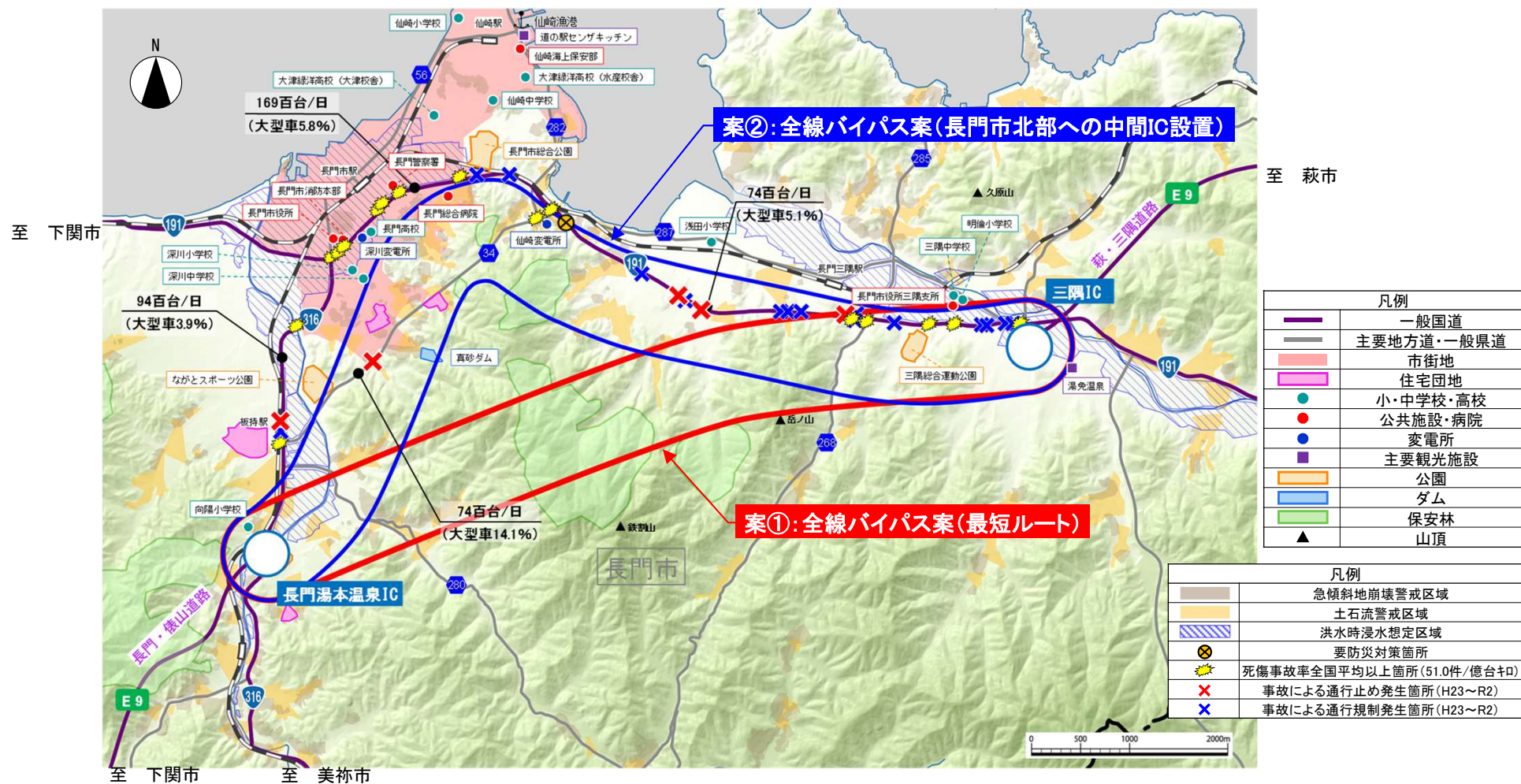
4. 対応方針（原案）の検討

2) コントロールポイントの考え方

〇ルート帯を検討する上でコントロールポイントとして、集落・公共施設等を設定。



3) ルート帯（案）の概要



【特徴】新設による別線整備により、政策目標の達成等を考慮し、以下の案を検討する。

：【案①】全線バイパス案（最短ルート）

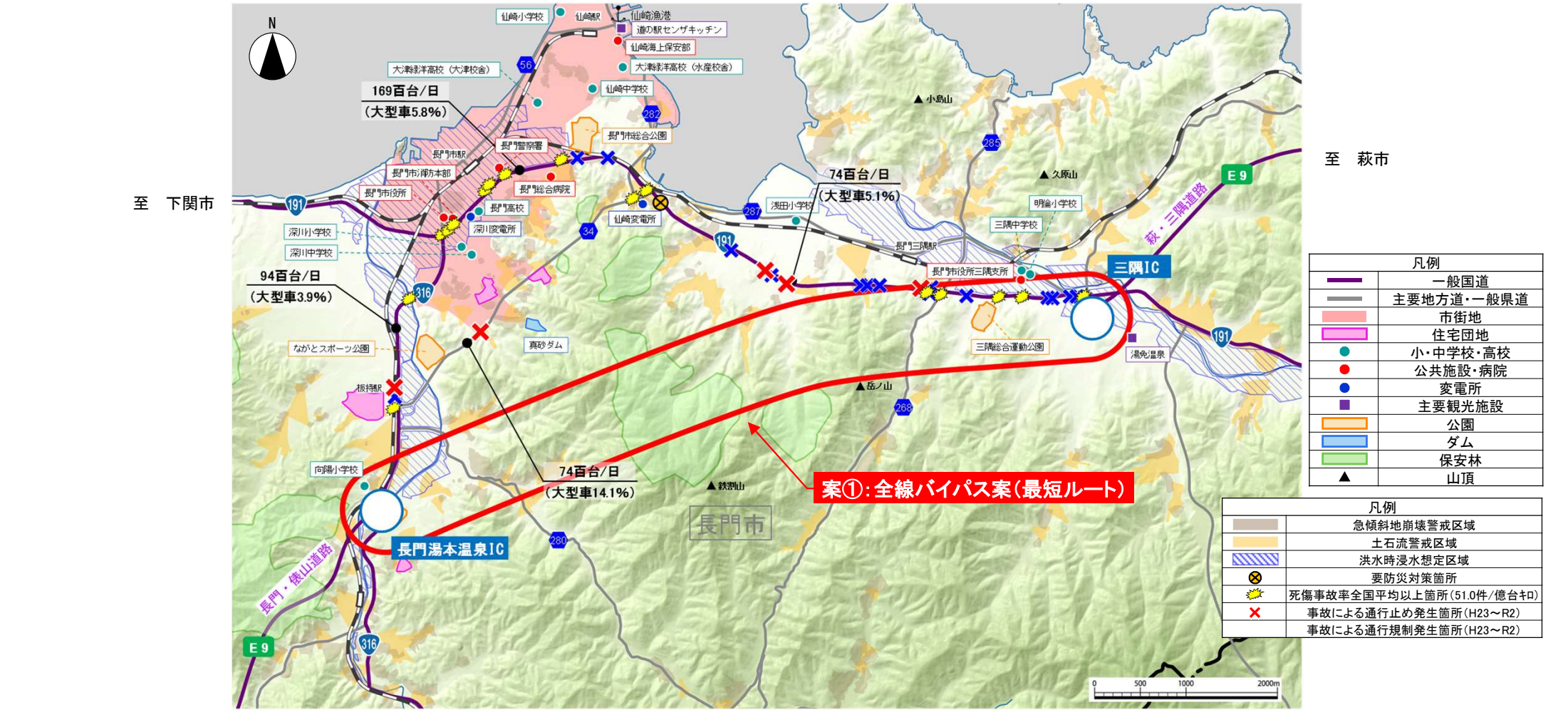
：【案②】全線バイパス案
(長門市北部への中間ＩＣ設置)

- ・対象区間を可能な限り最短ルートで結び、現道課題の解消を図り、通過交通等の速達性に優れる。
 - ・中間ＩＣを設置することにより、物流拠点施設及び観光拠点へのアクセス性、医療関係施設への安定搬送に優れる。
 - ・別線整備で現道課題の解消を図る。

4. 対応方針（原案）の検討

4）ルート帯案の概要【案①：全線バイパス案（最短ルート）】

○全線別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート案



■整備概要

延長	約 8 km
コスト	約 4 5 0 ～ 5 0 0 億円

■ポイント

内 容	・対象区間を別線バイパス（自動車専用道路）で最短で結び、速達性が向上する。 ・三隅～長門間の代替路は確保される。 ・別線整備で現道課題の解消を図る。 ・中間ICが無い場合、観光拠点施設等や市街地へのアクセス性に劣る。
-----	--

5) ルート帯案の概要【案②:全線バイパス案（長門市北部への中間IC設置）】

案②：全線バイパス案（長門市北部への中間IC設置）

169台/日
(大型車5.8%)

74台/日
(大型車5.1%)

94台/日
(大型車3.9%)

74台/日
(大型車14.1%)

至 下関市

至 美祢市

[Symbol]	急傾斜
[Symbol]	土砂災害危険箇所
[Symbol]	洪水危険箇所
[Symbol]	要防制箇所
[Symbol]	死傷事故率全国平均
[Symbol]	事故による通行規制
[Symbol]	事故による通行規制

延長 約 10 km

コスト 約500～550億円
(中間IC設置費用約35～37億円含む)

内 容

- ・対象区間を別線バイパス（自動車専用道路）で結び、速達性が向上する。
- ・三隅～長門間の代替路は確保される。
- ・中間ＩＣを設置することにより、物流拠点施設及び観光拠点へのアクセス性、医療関係施設への安定搬送に優れる。
- ・別線整備で現道課題の解消を図る。
- ・中間ＩＣを設置するため、案①より事業費が若干高く、延長も若干長い。

4. 対応方針（原案）の検討

6）ルート帯案の比較・評価

評価項目		番号	評価のポイント	【案①】全線バイパス案 (最短ルート)	【案②】全線バイパス案 (長門市北部への中間IC設置)
				延長約8km 設計速度80km/h 【自動車専用道路】	延長約10km 設計速度80km/h 【自動車専用道路】
道路整備による効果・改善点	産業の活性化	①	九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路(下関市～萩地方卸売市場の広域物流の速達性)	下関市から萩地方卸売市場への速達性が向上(現況に比べ萩地方卸売市場まで約11分短縮)	下関市から萩地方卸売市場への速達性が向上(現況に比べ萩地方卸売市場まで約10分短縮)
		②	長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路(下関市～仙崎漁港へのアクセス性)	中間ICがないため、下関市から仙崎漁港へのアクセス性は向上しない(現況に比べ短縮しない)	長門市北部への中間ICを設置するため、下関市から仙崎漁港へのアクセス性が向上(現況に比べ約7分短縮。信号交差点12箇所回避)
	観光振興の促進	③	九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路(下関市～観光拠点(萩市)の広域観光周遊の速達性)	下関市から観光拠点(萩市)への速達性が向上(現況に比べ約11分短縮)	下関市から観光拠点(萩市)への速達性が向上(現況に比べ約10分短縮)
		④	長門市の観光拠点(仙崎)とのアクセス性に優れる道路(下関市～観光拠点(仙崎)へのアクセス性)	中間ICがないため、観光拠点(仙崎)へのアクセス性は向上しない(現況に比べ短縮しない)	長門市北部への中間ICを設置するため、観光拠点(仙崎)へのアクセス性が向上(現況に比べ約7分短縮。信号交差点12箇所回避)
	救急医療の速達性・確実性の確保	⑤	長門地域の医療拠点への速達性・確実性が確保できる道路(救急医療機関が立地する長門市中心部への安定搬送)	中間ICがないため、長門市中心部への代替路とならず、救急医療機関への安定搬送が確保されない	長門市北部への中間ICを設置するため、長門市中心部への代替路として機能し、救急医療機関への安定搬送が確保
	交通安全の確保	⑥	事故が少なく安心して走れる道路	バイパス整備により通過交通が転換し、安全性が向上(死傷事故率全国平均以上の箇所を16箇所回避)	バイパス整備により通過交通が転換し、安全性が向上(死傷事故率全国平均以上の箇所を16箇所回避)
	災害時に強い道路ネットワークの確保	⑦	災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路	中間ICがないため、長門市街地への代替路としては機能しない	長門市北部への中間ICを設置するため、長門市街地への代替路として機能
配慮すべき点	環境への影響	⑧	自然環境への影響	重要な自然環境を概ね回避するため、自然環境への影響は小さい	重要な自然環境を概ね回避するため、自然環境への影響は小さい
	生活への影響	⑨	生活環境への影響(地域分断)	山側に回避することで地域分断はほぼ発生しない	山側に回避することで地域分断はほぼ発生しない
		⑩	移転等が必要な家屋	少ない	多い
	工事の影響	⑪	工事中の交通規制の影響	新設での道路整備となるため、工事中の現道における交通規制の影響が少ない	新設での道路整備となるため、工事中の現道における交通規制の影響が少ない
	建設費	⑫	建設に要する費用	約450～500億円	約500～550億円

5. 第2回意見聴取方法

5. 第2回意見聴取方法

1) 意見聴取の概要

■意見聴取の概要

- 実施主体: 国土交通省
- 周知方法: ポスター掲示、新聞広告、ケーブルテレビ、市町広報誌、HPへのバナー貼り付け 等
- 配布方法: ①住民は全戸配布、企業は郵送配布
- ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
- ③HP上でのWEBアンケート
- 回収方法: ①郵便ポスト
- ②市町役場や道の駅等への投函ボックスの設置
- ③HP上での回答
- 期 間: 概ね2ヶ月程度
- 対 象: 下表の通り

住民アンケート(全戸配布): 約33,200世帯		
長門市	旧長門市	約9,000世帯
	旧三隅町	約2,100世帯
	旧日置町	約1,500世帯
	旧油谷町	約2,700世帯
萩市	旧萩市	約17,900世帯
事業所アンケート: 約2,000社		
トラック協会加盟企業		約400社
沿線企業		約1,400社
広域利用企業		約200社
道路利用者アンケート: 21箇所		
常設	道の駅	センザキッチン、蛸街道西ノ市 きくがわ、さんさん三見 等
	自治体	長門市(本庁、総合事務所)、萩市(本庁)、下関市(支所) 山口県(土木建築事務所)、国土交通省 等
	その他	観光施設等
	道の駅等でのインタビュー調査	道の駅等
WEB		山陰西部国道事務所HPにバナー掲載 モニターアンケート
ヒアリング: 26団体		
自治体		山口県、長門市
沿線施設		消防、病院、介護施設、観光地、商工会議所、地元企業、農協、漁協等
その他		トラック協会等

＜アンケート配布範囲＞

※配布数は、地域住民アンケート



5. 第2回意見聴取方法
2) 各手法の調査項目と活用方針

■意見聴取の方法目的

把握する意見	アンケート	ヒアリング	備考
道路機能	三隅～長門間の道路整備を計画するにあたり、地域の将来を踏まえどのような道路にすべきかを、地域住民等の概ねの考えを把握する。	三隅～長門間の道路整備を計画するにあたり、アンケートでは把握できない具体的ななどのような道路にすべきかを把握する。	第1回
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。		
比較ルート帯案 (複数案)に対する 意見	ルート帯選定にあたり、地域住民等が重視する視点を把握する。	ルート帯選定にあたり、アンケートでは把握できない具体的な重要視する視点を把握する。	第2回
周辺アクセスに 関する意見	周辺からのアクセスを検討する際に、配慮すべき項目を把握する。	周辺からのアクセスを検討する際に、アンケートでは把握できない具体的な配慮すべき項目を把握する。	
その他の自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。		
回答者の属性 利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する。	—	共通

3) 第2回アンケート案（計画概要および現状）

○本調査の主旨、前回アンケートの概要、調査対象箇所について説明。

5. 第2回意見聴取方法

3) 第2回アンケート案 (第1回アンケート結果)

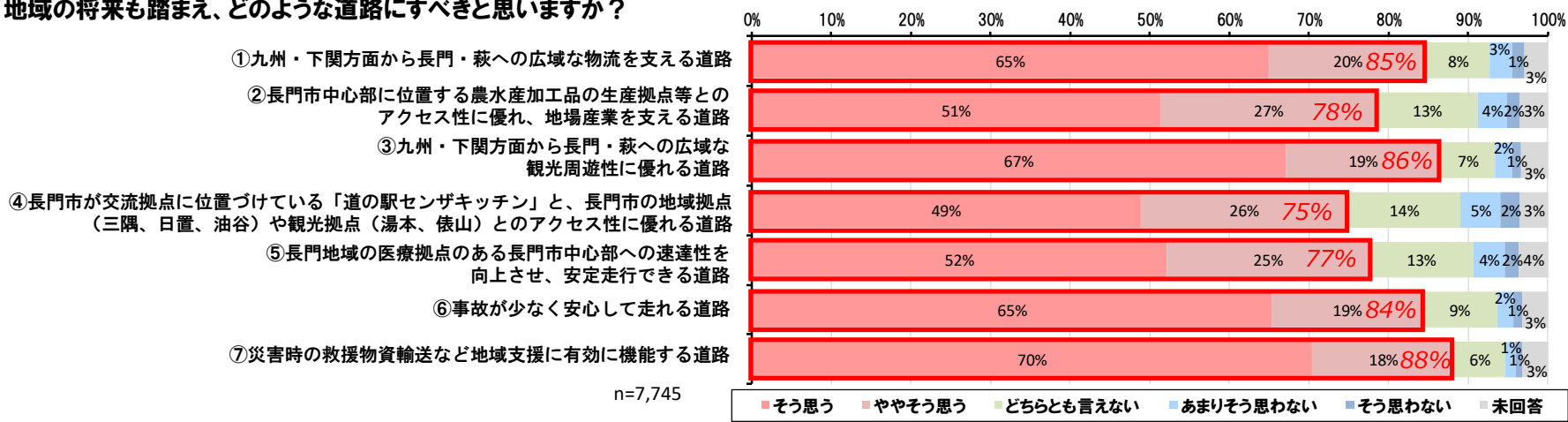
○第1回のアンケートの質問事項である「どのような道路にすべきか」について集計結果を説明。

第1回意見聴取にご協力いただきありがとうございました。
みなさまにお聴きしたご意見の結果(概要)を以下のとおり、お知らせします。

地域住民の方々や道路を利用されるの方々などから、7,745件の回答をいただきました。

■アンケート結果

地域の将来も踏まえ、どのような道路にすべきと思いますか？



■みなさまからのご意見の一例

- ・7月の豪雨災害時、山陽道が通行止めになり物流等かなりの影響を受けた。山陽道の迂回路としても機能するような道路を早急に整備してもらいたい(物流)。
- ・ICの位置、道路の通る場所により長門市全体が単なる通過点となる可能性が非常に大きいと思う。観光だけでは全く将来に希望は持てないので地場産業の発展につながる道路を計画してほしい(地域産業)。
- ・日本海側と瀬戸内側の交通をスムーズにし、観光の新しい可能性を生み出すのに必要な道。出来れば観光地へのアクセスを考慮した道路にして欲しい(観光)。
- ・「センザキッチン」があるのだからこの道路が役立つようにすると良い。現在の国道191号から入ると、せまい道路で渋滞する。せつかくのチャンスです。再考願いたい(拠点アクセス)。
- ・物流や観光面において重要な要因はあるが、やはり地元において救急、災害時のときに役立つ道路にしてほしい(救急医療)。
- ・車で走っていてスムーズに走りたい人も、安全運転を心がけたい人もイライラせずに安心して走れる道路にしてほしいです(交通安全)。
- ・山陰全体をつなぎ、地域が発展できるようにするべき・現在、他に迂回路がないため、災害の時には陸の孤島となってしまうのを防ぐようにする(災害)。
- ・長門は、自然豊かで、きれいな海と山があり、動物も沢山います。生態系を崩さず、自然破壊にならないようにお願いします(環境への配慮)。
- ・道路周辺の住民の方が住みにくならないようにしてほしい。(騒音、通行する車の振動など)新しい道路周辺の住民の方ができてよかったと感じる環境にしてほしい(生活への影響)。
- ・優良農地や果実園等、生活の基盤としている箇所に配慮して、整備していただけたらと思います。(生活への影響)
- ・道路工事中の時、車の流れを妨げる事を少なくしてほしいです(工事の影響)。
- ・予算をかけ過ぎないように、しっかり計画を立てて、整備をしてほしい(建設費)。
- ・道路整備は大賛成だが以前のように公園や手間のかかる植木は不必要であり後々維持管理費がかからないようシンプルにする(維持管理費)。

5. 第2回意見聴取方法

3) 第2回アンケート案（政策目標）

○政策目標を説明。

皆様からいただいたご意見を踏まえた5つの政策目標を設定しました。

産業の活性化



港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること。

観光振興の促進



観光や地域間交流を促進できること。

救急医療の速達性・ 確実性の確保



救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること。

交通安全の確保



カーブや急な坂が少なく、広い道路を安全に走行できること。

災害時に強い 道路ネットワークの確保

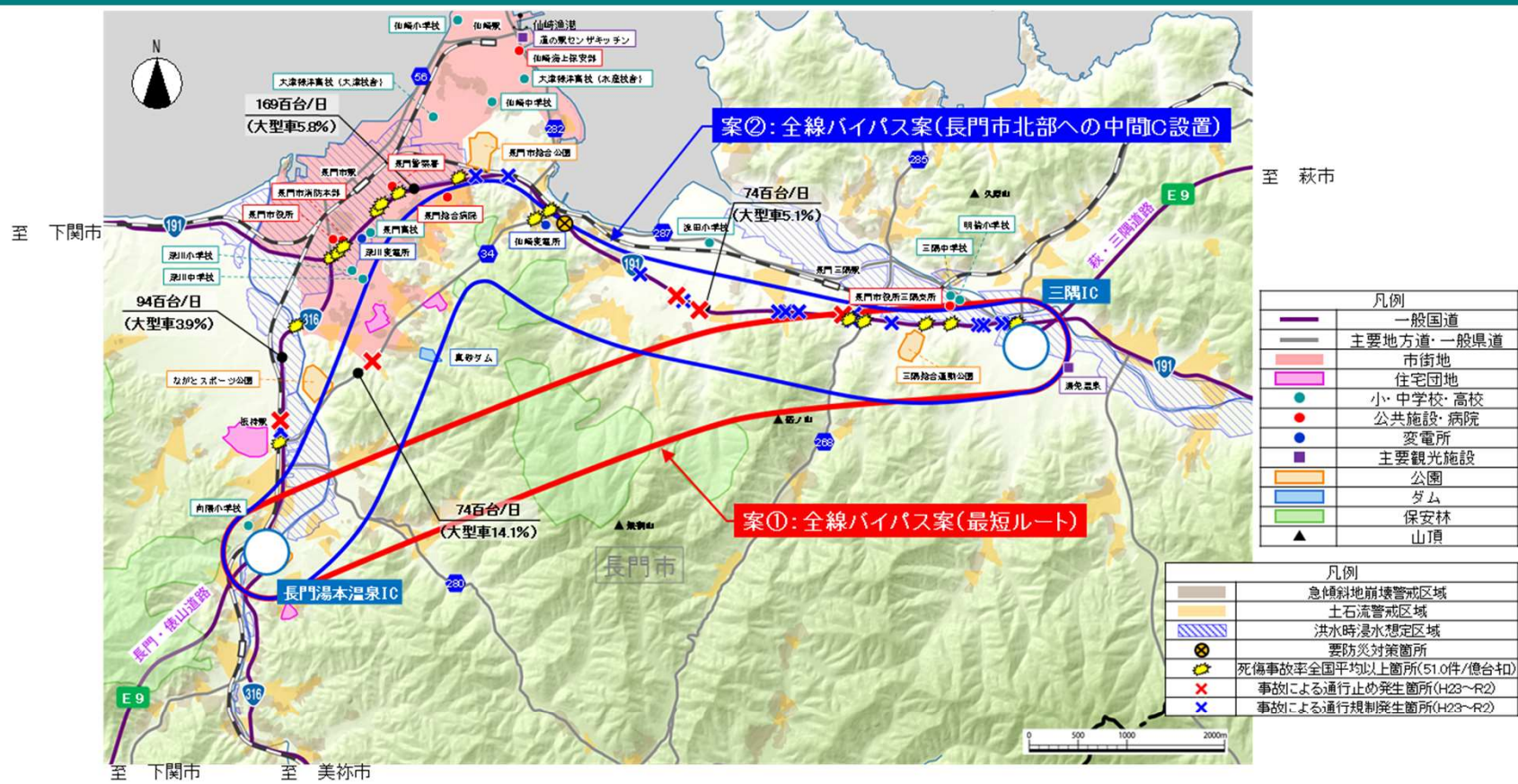


災害に備え、広域的な支援ルートが確保できること。

5. 第2回意見聴取方法
3) 第2回アンケート案（対策案の概要）

○各対策案の立案主旨や概要の説明。

三隅～長門の対策案について、2つのルート帯(案)を検討しています。



【特徴】新設による別線整備により、政策目標の達成等を考慮し、以下の案を検討する。

○：【案①】全線バイパス案（最短ルート）

○：【案②】全線バイパス案
（長門市北部への中間IC設置）

- 対象区間を可能な限り最短ルートで結び、現道課題の解消を図り、通過交通等の速達性に優れる。
- 中間ICを設置することにより、物流拠点施設及び観光拠点へのアクセス性、医療関係施設への安定搬送に優れる。
- 別線整備で現道課題の解消を図る。

5. 第2回意見聴取方法

3) 第2回アンケート案（対策案の評価項目）

○各対策案について、各評価項目における整備効果等を比較表を用いて説明。

各対策案の特徴

提示した対策案に対して、みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考にいたします。

評価項目		番号	評価のポイント	【案①】全線バイパス案 （最短ルート）	【案②】全線バイパス案 （長門市北部への中間IC設置）
				延長約8km 設計速度80km/h 【自動車専用道路】	延長約10km 設計速度80km/h 【自動車専用道路】
道路整備による効果・改善点	産業の活性化	①	九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路（下関市～萩地方卸売市場の広域物流の速達性）	下関市から萩地方卸売市場への速達性が向上（現況に比べ萩地方卸売市場まで約11分短縮）	下関市から萩地方卸売市場への速達性が向上（現況に比べ萩地方卸売市場まで約10分短縮）
		②	長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路（下関市～仙崎漁港へのアクセス性）	中間ICがないため、下関市から仙崎漁港へのアクセス性は向上しない（現況に比べ短縮しない）	長門市北部への中間ICを設置するため、下関市から仙崎漁港へのアクセス性が向上（現況に比べ約7分短縮。信号交差点12箇所回避）
	観光振興の促進	③	九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路（下関市～観光拠点（萩市）の広域観光周遊の速達性）	下関市から観光拠点（萩市）への速達性が向上（現況に比べ約11分短縮）	下関市から観光拠点（萩市）への速達性が向上（現況に比べ約10分短縮）
		④	長門市の観光拠点（仙崎）とのアクセス性に優れる道路（下関市～観光拠点（仙崎）へのアクセス性）	中間ICがないため、観光拠点（仙崎）へのアクセス性は向上しない（現況に比べ短縮しない）	長門市北部への中間ICを設置するため、観光拠点（仙崎）へのアクセス性が向上（現況に比べ約7分短縮。信号交差点12箇所回避）
	救急医療の速達性・確実性の確保	⑤	長門地域の医療拠点への速達性・確実性が確保できる道路（救急医療機関が立地する長門市中心部への安定搬送）	中間ICがないため、長門市中心部への代替路とならず、救急医療機関への安定搬送が確保されない	長門市北部への中間ICを設置するため、長門市中心部への代替路として機能し、救急医療機関への安定搬送が確保
	交通安全の確保	⑥	事故が少なく安心して走れる道路	バイパス整備により通過交通が転換し、安全性が向上（死傷事故率全国平均以上の箇所を16箇所回避）	バイパス整備により通過交通が転換し、安全性が向上（死傷事故率全国平均以上の箇所を16箇所回避）
	災害時に強い道路ネットワークの確保	⑦	災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路の確保	中間ICがないため、長門市街地への代替路としては機能しない	長門市北部への中間ICを設置するため、長門市街地への代替路として機能
配慮すべき点	環境への影響	⑧	自然環境への影響	重要な自然環境を概ね回避するため、自然環境への影響は小さい	重要な自然環境を概ね回避するため、自然環境への影響は小さい
	生活への影響	⑨	生活環境への影響（地域分断）	山側に回避することで地域分断はほぼ発生しない	山側に回避することで地域分断はほぼ発生しない
		⑩	移転等が必要な家屋	少ない	多い
	工事の影響	⑪	工事中の交通規制の影響	新設での道路整備となるため、工事中の現道における交通規制の影響が少ない	新設での道路整備となるため、工事中の現道における交通規制の影響が少ない
	建設費	⑫	建設に要する費用	約450～500億円	約500～550億円

5. 第2回意見聴取方法
3) 第2回アンケート案 (質問事項)

- 「対策案(ルート帯案)」、「インターチェンジ」について確認
- 「質問事項」と合わせて、自由意見や回答者の属性を確認

【アンケート質問票】
(回答はがきに記載してください)

提示した対策案に対して、みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考にいたします。

質問1 今回、2つのルート帯(案)を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑬から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること
- ② 長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支えること
- ③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること
- ④ 長門市の観光拠点(仙崎)とのアクセス性に優れること
- ⑤ 長門地域の医療拠点への速達性・確実性が確保できること
- ⑥ 事故が少なく安心して走れること
- ⑦ 災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能すること
- ⑧ 自然環境への影響が小さいこと
- ⑨ 地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと
- ⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 工事中の交通規制の影響が小さいこと
- ⑫ 建設に要する費用が安いこと
- ⑬ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

質問2 長門市内へのアクセスを検討する際に、どのような施設・拠点等にアクセスすべきだと思いますか？ご自由にお書きください。

質問3 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

- 回答方法 回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。
- 締め切り 令和〇年〇月〇日(〇)まで に投函願います。

【回答はがき(うら面)】

(質問1) アンケート質問票に示している重視すべき項目①～⑬のうち、特に重視すべきと思われる項目について、最大3つまで選んでいただき、番号とその理由・内容をお書きください。

特に重視すべき項目の番号 (一枠に1つ)	特に重視すべき理由・内容 (特に意見が無い場合は空欄でも構いません。)

(質問2) 長門市内へのアクセスを検討する際に、どのような施設・拠点等にアクセスすべきだと思いますか？ご自由にお書きください。

(質問3) その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良く思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

5. 第2回意見聴取方法
3) 第2回アンケート案 (質問事項)

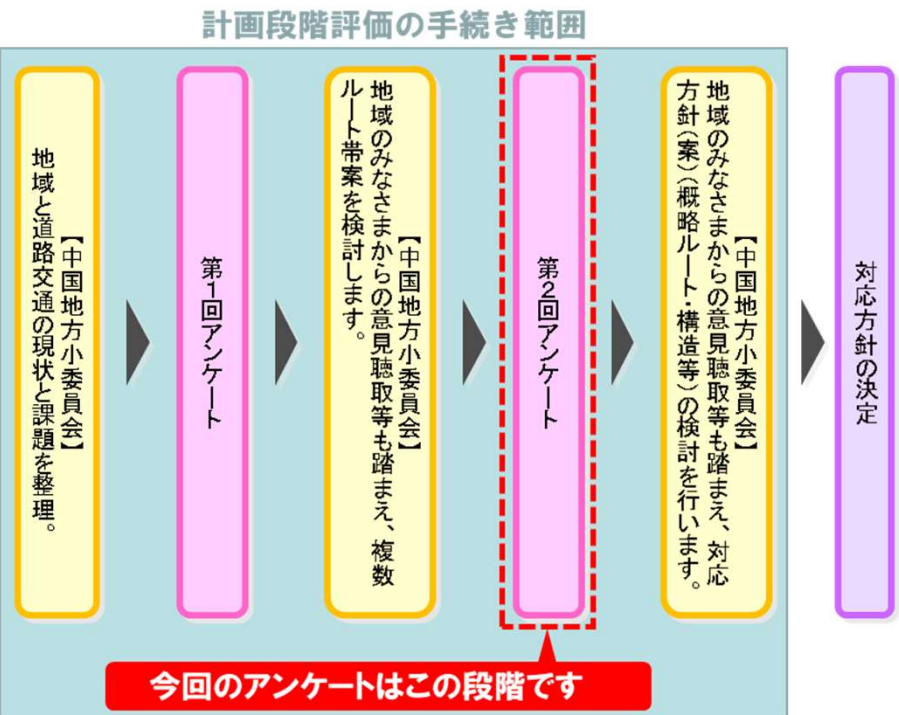
○「質問事項」と合わせて、回答者の属性を確認

定形郵便物
料金受取人払郵便
山口県萩市大字江向318番地2
国土交通省 中国地方整備局
山陰西部国道事務所
工務課 行

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】
住所 〒 - ※番地不要
性別 ① 男性 ② 女性 年齢 歳代
◆「三隅～長門間」の国道191号、国道316号、及び下関長門線(以下「対象路線」)の普段の自動車利用状況について【該当する番号に○をつけてください。】
Q. 現在の対象路線を利用する頻度を教えてください。
① ほぼ毎日 ② 週2～3回程度 ③ 月2～3回程度
→①、②、③を選ばれた方は《下段》の質問へ
④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない
→④、⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ
Q. 対象路線を利用する主な目的を1つ教えてください。
① 通勤 ② 通学 ③ 家事・買い物 ④ 仕事
⑤ 観光・レジャー ⑥ 通院 ⑦ その他()
Q. 上記利用目的の主な目的地を1つ教えてください。
① 萩市 ② 長門市 (旧長門市) ③ 長門市 (旧三隅町)
④ 長門市 (旧日置町) ⑤ 長門市 (旧油谷町) ⑥ 美祢市
⑦ 下関市 ⑧ その他()
《裏面》にも質問があります→

※回答はがき(うら面)のアンケート設問にもご回答ください。

今後の手続きの流れ



※本アンケートでお答えいただいた個人情報、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。

アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 山陰西部国道事務所 担当: 工務課
☎ 0838-21-3926

安心で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。

